

(様式第 10)

広大病医事第 20-8 号
令和 2 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人広島大学
学長 越智 光夫

広島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒739-8511 東広島市鏡山一丁目 3 番 2 号
氏 名	国立大学法人広島大学 学長 越智 光夫

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

広島大学病院

3 所在の場所

〒734-8551 広島市南区霞一丁目 2 番 3 号	電話 (082) 257 - 5555
--------------------------------	---------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
①呼吸器内科	2消化器内科	③循環器内科
5神経内科	⑥血液内科	7内分泌内科
⑨感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	⑪リウマチ科
診療実績		
・消化器内科及び代謝内科については消化器・代謝内科で医療を提供している。		
・神経内科については脳神経内科で医療を提供している。		
・内分泌内科については内分泌・糖尿病内科で医療を提供している。		
・アレルギー疾患内科またはアレルギー科は呼吸器内科で医療を提供している。		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していな

い診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名		
①呼吸器外科 5血管外科	②消化器外科 ⑥心臓血管外科	③乳腺外科 7内分泌外科 4心臓外科 ⑧小児外科
診療実績 ・ 内分泌外科については乳腺外科で医療を提供している。		

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	12放射線科	⑬放射線診断科	
⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
①小児歯科 ②矯正歯科 ③口腔外科		
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 移植外科	2 腫瘍内科	3 病理診断科	4 形成外科	5 リハビリテーション科
--------	--------	---------	--------	--------------

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
20床	2床	床	床	724床	746床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	546人	100人	646.1人	看 護 補 助 者	28人	診療エックス線技師	人
歯 科 医 師	208人	21人	229人	理 学 療 法 士	34人	臨床検査技師	79人
薬 剤 師	77人	人	77人	作 業 療 法 士	13人	衛生検査技師	人
保 健 師	人	人	人	視 能 訓 練 士	12人	そ の 他	人
助 産 師	28人	人	28人	義 肢 装 具 士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看 護 師	881人	8.5人	889.5人	臨 床 工 学 士	20人	医療社会事業従事者	人
准 看 護 師	人	人	人	栄 養 士	4人	その他の技術員	63人
歯科衛生士	22人	人	22人	歯 科 技 工 士	6人	事 務 職 員	404人
管理栄養士	14人	人	14人	診療放射線技師	55人	そ の 他 の 職 員	115人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	82人	眼 科 専 門 医	16人
外 科 専 門 医	82人	耳鼻咽喉科専門医	12人
精 神 科 専 門 医	13人	放射線科専門医	22人
小 児 科 専 門 医	23人	脳神経外科専門医	15人
皮 膚 科 専 門 医	7人	整形外科専門医	29人
泌尿器科専門医	11人	麻 酔 科 専 門 医	23人
産婦人科専門医	10人	救 急 科 専 門 医	17人
		合 計	362人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (木内 良明) 任命年月日 平成30年4月1日

平成24年4月1日～27年3月31日の3年間、医療機器安全管理責任者に就任

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日当たり平均入院患者数	574.0人	18.4人	592.4人
1 日当たり平均外来患者数	1,857人	525.6 人	2382.6人
1 日当たり平均調剤数			1046.1剤
必要医師数			165人
必要歯科医師数			30人
必要薬剤師数			20人
必要（准）看護師数			377人

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施 設 名	床面積	主要構造	設 備	概 要
集中治療室	689.5m ²	鉄筋コンクリート	病 床 数	33床
			人工呼吸装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	277.5 m ²	病床数 16 床
	[移動式の場合]	台 数	台	
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合]	床 積	114.9 m ²	
	[共用室の場合]	共用する室名	治験資料室・薬務室・副部長室	
化学検査室	540.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) CO2インキュベーター, FFP解凍器, クリーンベンチ, ルミネックス, 遠心機, 分光光度計, 位相差顕微鏡, リアルタイムPCR	
細菌検査室	68.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) MIC測定装置, オートクレーブ, パスボックス, 安全キャビネット, 遺伝子分析装置, 恒温器, 顕微鏡, 冷蔵庫	
病理検査室	254.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) クリオスタット, 顕微鏡, 保冷库, 細胞診標本作成装置, バイオクリーンベンチ, 自動免疫染色装置, 超純水製造装置	
病理解剖室	122.5m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 臓器写真台, 解剖台, ホルムレイナー脱臭装置, 酸素クラスター除菌脱臭装置, 光触媒空気清浄器, ホルマリンリサイクル装置	
研 究 室	173.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡, パソコン, 超微量パーソナル分光光度計, 微量遠心機, PCR装置, 全自動核酸抽出装置, ホモジナイザー	
講 義 室	1372.1m ²	鉄筋コンクリート	室数 20 室	収容定員 631 人
図 書 室	42.8m ²	鉄筋コンクリート	室数 1 室	蔵 書 数 10,000 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		84.4%	逆紹介率		74.5%
算出根拠	A：紹介患者の数		20,166人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		19,140人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,515人		
	D：初診の患者の数		25,689人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
渡邊 弘司	日本医師会・常任理事	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
福永 宏	福永宏・福永孝法律事務所・弁護士		法律に関する識見を有する者	無	1
中川 圭	認定NPO法人乳がん患者友の会きらら・理事長		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	☒ 有・無
委員の選定理由の公表の有無	☒ 有・無
公表の方法	
病院ホームページに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

[illegible]

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中中枢神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	0人
マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(切除が困難で進行性のもの又は治療後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	0人
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法 切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)	0人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	1人
ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 再発翼状片(増殖組織が角膜輪部を超えるものに限る。)	0人
水素ガス吸入療法 心停止後症候群(院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。)	0人
自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療 バージャー病(従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
3	球脊髄性筋萎縮症	56	ベーチェット病	60
31	筋萎縮性側索硬化症	57	特発性拡張型心筋症	47
7	脊髄性筋萎縮症	58	肥大型心筋症	6
0	原発性側索硬化症	59	拘束型心筋症	0
12	進行性核上性麻痺	60	再生不良性貧血	37
94	パーキンソン病	61	自己免疫性溶血性貧血	2
4	大脳皮質基底核変性症	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3
0	ハンチントン病	63	特発性血小板減少性紫斑病	60
0	神経有棘赤血球症	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
4	シャルコー・マリー・トゥース病	65	原発性免疫不全症候群	42
57	重症筋無力症	66	IgA 腎症	22
0	先天性筋無力症候群	67	多発性嚢胞腎	28
85	多発性硬化症／視神経脊髄炎	68	黄色靱帯骨化症	7
17	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	69	後縦靱帯骨化症	47
3	封入体筋炎	70	広範脊柱管狭窄症	4
1	クロー・深瀬症候群	71	特発性大腿骨頭壊死症	151
14	多系統萎縮症	72	下垂体性ADH分泌異常症	16
52	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
7	ライソゾーム病	74	下垂体性PRL分泌亢進症	22
1	副腎白質ジストロフィー	75	クッシング病	5
15	ミトコンドリア病	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
66	もやもや病	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	17
4	プリオン病	78	下垂体前葉機能低下症	122
0	亜急性硬化性全脳炎	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	3
0	進行性多巣性白質脳症	80	甲状腺ホルモン不応症	0
0	HTLV-1関連脊髄症	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
1	特発性基底核石灰化症	82	先天性副腎低形成症	0
17	全身性アミロイドーシス	83	アジソン病	2
0	ウルリッヒ病	84	サルコイドーシス	40
3	遠位型ミオパチー	85	特発性間質性肺炎	50
0	ベスレムミオパチー	86	肺動脈性肺高血圧症	9
0	自己食空腔性ミオパチー	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
0	シュワルツ・ヤンソン症候群	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4
32	神経線維腫症	89	リンパ管筋腫症	7
31	天疱瘡	90	網膜色素変性症	15
2	表皮水疱症	91	バッド・キアリ症候群	3
5	膿疱性乾癬(汎発型)	92	特発性門脈圧亢進症	4
0	スティーヴンス・ジョンソン症候群	93	原発性胆汁性肝硬変	77
0	中毒性表皮壊死症	94	原発性硬化性胆管炎	8
12	高安動脈炎	95	自己免疫性肝炎	32
7	巨細胞性動脈炎	96	クローン病	322
6	結節性多発動脈炎	97	潰瘍性大腸炎	463
22	顕微鏡的多発血管炎	98	好酸球性消化管疾患	12
11	多発血管炎性肉芽腫症	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
13	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
9	悪性関節リウマチ	101	腸管神経節細胞減少症	0
29	バージャー病	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
3	原発性抗リン脂質抗体症候群	103	CFC症候群	0
243	全身性エリテマトーデス	104	コステロ症候群	0
93	皮膚筋炎／多発性筋炎	105	チャージ症候群	0
95	全身性強皮症	106	クリオピリン関連周期熱症候群	4
33	混合性結合組織病	107	若年性特発性関節炎	4
46	シェーグレン症候群	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
9	成人スチル病	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	3
8	再発性多発軟骨炎	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

指定難病に属しない診療	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	9
113	筋ジストロフィー	23	163	特発性後天性全身性無汗症	7
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	7
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オキシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	2
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	2	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ピッカー・スタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	1
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	1	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	1	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	2	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイトロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無 β リポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	2
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	23	270	慢性再発性多発性骨髄炎	2
223	一次性膿性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	15
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	1
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	1
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	$\alpha 1$ -アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	2	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	2	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	2
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	19
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	46

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
307 カナバン病	0	321 非ケトーシス型高グリシン血症	0
308 進行性白質脳症	0	322 β -ケトチオラーゼ欠損症	0
309 進行性ミオクロノステんかん	0	323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310 先天異常症候群	0	324 メチルグルタコン酸尿症	0
311 先天性三尖弁狭窄症	0	325 遺伝性自己炎症疾患	0
312 先天性僧帽弁狭窄症	0	326 大理石骨病	0
313 先天性肺静脈狭窄症	0	327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	3
314 左肺動脈右肺動脈起始症	0	328 前眼部形成異常	0
315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	329 無虹彩症	0
316 カルニチン回路異常症	0	330 先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
317 三頭酵素欠損症	0	331 特発性多中心性キャスルマン病	1
318 シトリン欠損症	0	332 膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319 セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333 ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算1, 2
・歯科外来診療環境体制加算2	・データ提出加算
・歯科診療特別対応連携加算	・入退院支援加算1
・特定機能病院入院基本料	・認知症ケア加算3
・救急医療管理加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・超急性期脳卒中加算	・精神疾患診療体制加算
・診療録管理体制加算1	・精神科急性期医師配置加算
・医師事務作業補助体制加算1	・地域医療体制確保加算
・急性期看護補助体制加算	・救命救急入院料3
・看護職員夜間配置加算	・特定集中治療室管理料3, 4
・療養環境加算	・特定集中治療室 早期離床・リハビリテーション加算
・重症者等療養環境特別加算	・特定集中治療室 早期栄養介入管理加算
・無菌治療室管理加算1, 2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・緩和ケア診療加算	・新生児特定集中治療室管理料2
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・
・後発医薬品使用体制加算2	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
・ウイルス疾患指導料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・皮下連続式グルコース測定
・糖尿病合併症管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・遺伝学的検査
・がん患者指導管理料イ, ロ, ハ, ニ	・有床義歯咀嚼機能検査1のイ
・外来緩和ケア管理料	・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・精密触覚機能検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・睡眠時歯科筋電図検査
・小児運動器疾患指導管理料	・骨髓微小残存病変量測定
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・BRCA1/2遺伝子検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・腎代替療法指導管理料	・先天性代謝異常症検査
・院内トリアージ実施料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・外来放射線照射診療料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・療養・就労両立支援指導料 相談体制充実加算	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・検体検査管理加算(Ⅳ)
・がん治療連携計画策定料	・国際標準検査管理加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・遺伝カウンセリング加算
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・薬剤管理指導料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・地域連携診療計画加算	・胎児心エコー法
・医療機器安全管理料1, 2	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・医療機器安全管理料(歯科)	・ベッドアップティルト試験
・在宅血液透析指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査

・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・脳波検査判断料1	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・遠隔脳波診断	・がん患者リハビリテーション料
・脳磁図(自発活動を測定するもの)	・リンパ浮腫複合的治療料
・脳磁図(その他のもの)	・歯科口腔リハビリテーション料2
・神経学的検査	・精神科作業療法
・補聴器適合検査	・認知療法・認知行動療法1
・ロービジョン検査判断料	・医療保護入院等診療料
・小児食物アレルギー負荷検査	・処置の休日加算1(医科点数表第2章第9部処置の通則の5に規定する処置の休日加算1)
・内服・点滴誘発試験	・処置の時間外加算1(医科点数表第2章第9部処置の通則の5に規定する処置の時間外加算1)
・CT透視下気管支鏡検査加算	・処置の深夜加算1(医科点数表第2章第9部処置の通則の5に規定する処置の深夜加算1)
・経気管支凍結生検法	・口腔粘膜処置
・画像診断管理加算3	・レーザー機器加算
・歯科画像診断管理加算1, 2	・硬膜外自家血注入
・ポジトロン断層撮影	・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)
・CT撮影及びMRI撮影	・人工腎臓(導入期加算2及び腎代替療法実績加算)
・冠動脈CT撮影加算	・人工腎臓(透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算)
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・磁気による膀胱等刺激法
・外傷全身CT加算	・手術用顕微鏡加算
・心臓MRI撮影加算	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・乳房MRI撮影加算	・歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)
・小児鎮静下MRI撮影加算	・CAD/CAM冠
・頭部MRI撮影加算	・手術時歯根面レーザー応用加算
・全身MRI撮影加算	・歯科技工加算1及び2
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・センチネルリンパ節加算
・外来化学療法加算1	・皮膚移植術(死体)
・連携充実加算	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・無菌製剤処理料	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・椎間板内酵素注入療法

・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの(内視鏡手術用支援機器によるもの))
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下弁形成術
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・羊膜移植術	・胸腔鏡下弁置換術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・経皮的僧帽弁クリップ術
・緑内障手術緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・人工中耳植込術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(MRIによるもの)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術)(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・補助人工心臓
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的下肢動脈形成術
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器によるもの)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器によるもの)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器によるもの)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)

・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器によるもの)	・コーディネート体制充実加算
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・同種クリオプレシピテート作製術
・体外衝撃波胆石破碎術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下肝切除術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・生体部分肝移植術	・歯周組織再生誘導手術
・同種死体肝移植術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・体外衝撃波腭石破碎術	・歯根端切除手術の注3
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	・歯科麻酔管理料
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・放射線治療専任加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・外来放射線治療加算
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・同種死体腎移植術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・生体腎移植術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・定位放射線治療
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・病理診断管理加算1
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・腹腔鏡下膣式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・歯科矯正診断料
・手術の休日加算1(医科点数表第2章第10部手術の通則の12に規定する手術の休日加算1)	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・手術の時間外加算1(医科点数表第2章第10部手術の通則の12に規定する手術の時間外加算1)	・
・手術の深夜加算1(医科点数表第2章第10部手術の通則の12に規定する手術の深夜加算1)	・
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術)	・
・輸血管理料Ⅰ	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・前眼部三次元画像解析	・
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・マルチプレックス遺伝子パネル検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年間約 140回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 39 例 / 剖検率 7.6 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
心不全患者在宅支援体制構築事業	木内 良明	病院長, 眼科	6,380,000	補	広島県
難病特別対策推進事業	木内 良明	病院長, 眼科	1,115,000	補	厚生労働省
ドクターヘリ導入促進事業	木内 良明	病院長, 眼科	250,952,000	補	広島県
がん診療連携拠点病院機能強化事業	木内 良明	病院長, 眼科	21,310,760	補	厚生労働省
産科医等確保支援事業	木内 良明	病院長, 眼科	802,000	補	広島県
新人看護職員研修事業	木内 良明	病院長, 眼科	1,423,000	補	広島県
防災訓練等参加支援事業	木内 良明	病院長, 眼科	466,000	補	広島県
感染症指定医療機関運営事業	木内 良明	病院長, 眼科	3,294,000	補	広島県
実践的手術手技向上研修実施機関設備整備事業	木内 良明	病院長, 眼科	19,188,000	補	広島県
多機能幹細胞を用いた免疫賦活化療法による新規肝炎／肝癌治療の開発研究	大段 秀樹	移植外科	28,110,000	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
C型肝炎ウイルス排除後の病態、生命予後、QOLに関する包括的研究	茶山 一彰	消化器・代謝内科	43,010,000	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
うつ病の病態に基づく層別化と神経回路調整による革新的診断・治療法開発	山脇 成人	精神科	66,400,000	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
革新的半月板損傷治療技術の創生研究	安達 伸生	整形外科	19,500,000	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
アレルギー性皮膚疾患の病態における発汗異常の解明と治療法の開発	秀 道広	皮膚科	19,500,000	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
小児がん研究グループによる小児肝がんの海外診療状況調査と国際共同臨床研究基盤整備	檜山 英三	小児外科	7,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
逐次近似画像再構成法を用いた低線量CTにおける冠動脈石灰化スコアの確立	立神 史稔	放射線診断科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
オーラルフレイルの早期発見・早期改善は全身フレイルを阻止できるか	吉川 峰加	口腔インプラント診療科	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
細胞外小胞を介した幹細胞相互作用による組織修復機構の解明と被ばく医療への応用	一戸 辰夫	血液内科	3,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
関節軟骨片とmicroRNA・エクソソームを用いた新規関節軟骨治療の開発	安達 伸生	整形外科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
遊離核酸を用いた小児悪性腫瘍に対するFluid Biopsy法の確立	上田 祐華	小児外科	6,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
2本鎖DNAを使用せず高度の安全性を保证する遺伝子治療の開発	茶山 一彰	消化器・代謝内科	8,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
障害者スポーツ選手の熱中症事故を防ぐー2020年東京パラリンピックを見据えてー	福原 幸樹	診療支援部	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ゲノムバイオマーカーとカプセル分光画像によるリウマチ関連小腸粘膜傷害の早期診断	岡 志郎	内視鏡診療科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
糖尿病患者における肝発癌バイオマーカーの探索	相方 浩	消化器・代謝内科	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
B型肝炎ウイルス感染マウスを用いたゲノム編集によるHBVcccDNAの排除	今村 道雄	消化器・代謝内科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金

計25件

肝炎ウイルス非存在下肝発癌に関連する新規遺伝的要因による肝発癌リスク評価法の開発	三木 大樹	消化器・代謝内科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
serrated pathway由来大腸癌の個別化医療の確立に向けて	田中 信治	内視鏡診療科	200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
遺伝性不整脈疾患における心臓突然死のリスク予測手段の開発と検証のための研究	中野 由紀子	循環器内科	300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
内臓脂肪解析と次世代血管分子イメージングを基盤とした新規予防戦略の構築	北川 知郎	循環器内科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ALDH活性を指標とした肺組織幹細胞の検出と肺線維症への治療応用	中島 拓	呼吸器内科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
I型肺胞上皮由来物質RAGEを用いた特異性肺線維症の病態解明の試み	岩本 博志	呼吸器内科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞移植による腎臓におけるストレス誘導性老化の抑制	正木 崇生	腎臓内科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
小胞体カルシウムイオン調節を基盤にしたアルドステロン合成制御機構の解明	沖 健司	内分泌・糖尿病内科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
エビ依存性運動誘発アナフィラキシーの原因抗原解析と診断・発症予防への応用	松尾 裕彰	薬剤部	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Stat1機能獲得型変異ノックインマウスを用いた感染症発症の分子病態解析	津村 弥来	小児科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
皮膚における毛包および汗腺組織への分化を運命づけるメカニズムの探索	高萩 俊輔	皮膚科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
認知行動療法の情動制御機構の解明	岡本 泰昌	精神科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
全身MRIと次世代型シーケンスによる骨髄造血器疾患の網羅的評価と治療戦略への応用	高須 深雪	放射線診断科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
CFDを用いた血管内塞栓物質の血管内動態シミュレーションと新規デザイン開発	馬場 康貴	放射線診断科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
肺癌に対する機能的画像を用いたオーダーメイド放射線治療法の臨床応用	木村 智樹	放射線治療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
抗ドナーHLA特異的抗体陽性症例に対する新規脱感作療法の開発	井手 健太郎	消化器外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Wnt5aシグナル伝達経路を標的としたER陽性乳癌に対する新規治療法の開発	角舎 学行	乳腺外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
乳癌における腫瘍浸潤リンパ球と腫瘍内不均一性を評価する画像診断システムの開発	舩本 法生	乳腺外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
EZH2エピジェネティック制御による肝内在性NK細胞活性化機構の解明	大平 真裕	未来医療センター	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
抗炎症作用に優れた微重力培養した間葉系幹細胞による胸部大動脈瘤術後対麻痺予防	高橋 信也	心臓血管外科	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
データヘルス計画に基づく高齢者脳神経外科ガイドラインデータ作成研究	井川 房夫	脳神経外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
小胞体ストレスセンサーOASISを介した脊髄損傷後グリオシス機構の解明と制御	亀井 直輔	整形外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
microRNAエンコーディング腫瘍溶解性ウイルスによる多段階的悪性腫瘍治療戦略	久保 忠彦	整形外科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
尿路上皮がんの抗がん剤耐性におけるp38 MAPKの役割と新規阻害薬の応用開発	神明 俊輔	泌尿器科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
アンドロゲン応答性の転写超保存領域を標的とした前立腺がん新規診断・治療法の開発	稗田 圭介	泌尿器科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金

計25件

胎盤絨毛細胞合体化の分子細胞生物学的機序の 解明:妊娠高血圧症候群発症病態の解明	工藤 美樹	産婦人科	1,100,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
眼球の剛性の見地から緑内障の形態と機能の変化を つなぐ	木内 良明	眼科	1,500,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
アルドステロンによる網膜神経節細胞死のメカニズムの 解明	廣岡 一行	眼科	1,100,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
敗血症における低体温が好中球造血に及ぼす影響とそ の機序の解明	志馬 伸朗	救急集中治療科	1,300,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
唾液腺ならびに菌原性腫瘍の分子病理学的診断	小川 郁子	口腔検査センター	1,300,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
NSAIDsリポジショニングによるNF- κ B阻害を介した歯 髓炎治療法の開発	土屋 志津	歯科保存診療科	1,200,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
ブラキシズムの長期的動態の脳波筋電図学的分析に 基づくスプリント非連続着用の研究	安部倉 仁	咬合・義歯診療科	500,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
骨軟骨由来新規可溶性FGF受容体の機能解析と骨軟 骨再生への応用	香川 和子	咬合・義歯診療科	1,000,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
口腔扁平上皮癌におけるメカニカルストレスを介した癌 幹細胞形質の制御機構の解明	重石 英生	口腔健康科	1,000,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
口腔癌のドライバー候補遺伝子を標的とした海洋生物 由来生体活性物質の探索と創薬研究	吉岡 幸男	口腔顎顔面再建外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
H.pylori菌体成分の口腔粘膜炎症誘導機構と胃癌患 者の口腔内細菌叢変化	西 裕美	口腔総合診療科	1,000,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
口腔粘膜における核酸認識と抗菌ペプチドによる新規 応答調節機構の解明	太田 耕司	口腔健康科	1,200,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
口腔粘膜細胞のCandida albicans 認識とHO-1の新規 炎症制御機構	福井 暁子	口腔顎顔面再建外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
新規EMT関連遺伝子DUOX1が誘導する唾液腺癌の 浸潤機構の解析	小野 重弘	顎・口腔外科	800,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
α 2-アンチプラスミン遺伝子搭載センダイウイルスベク ターによる新規口腔癌治療研究	浜名 智昭	顎・口腔外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
舌痛症に対する抗うつ薬と認知行動療法による治療効 果の脳機能画像的評価	土井 充	歯科麻酔科	500,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
児童相談所内一時保護施設入所児童の口腔衛生状 態と虐待との関連および歯科保健行動	新里 法子	小児歯科	1,100,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
DNAポリメラーゼ γ (ゼータ)が誘発する変異の生成・ 抑制の分子機構	鈴木 哲矢	口腔総合診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
circulating tumor DNAを用いた肝癌の治療耐性獲得 機序の解明	大野 敦司	消化器・代謝内科	800,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
三次元イメージングを基盤とした心臓弁複合体の診断 法確立と新規治療法の開発	宇都宮 裕人	循環器内科	800,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
ウェアラブルデバイスを用いた行動活性化によるうつ症 状改善行動予測因子の同定	神人 蘭	精神科	800,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
fMRIを用いた読影時の脳活動の検討	海地 陽子	放射線診断科	700,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
食道癌放射線療法における放射線感受性を加味した 正常臓器耐容線量評価法の開発	西淵 いくの	放射線治療科	600,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
亜全身照射モデルを用いた腸死を防護する放射線防 護剤の探索	高橋 一平	放射線部	800,000	補	文部科学省科学研究 費補助金
Wnt5a/ALCAM陽性乳癌に対する複合抗体療法を中 心とした新規治療の開発	網岡 愛	乳腺外科	900,000	補	文部科学省科学研究 費補助金

計25件

テロメア長とmicroRNA解析による悪性脳腫瘍化学療法強度調整システムの開発	高安 武志	脳神経外科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
microRNAに着目した肥満による変形性膝関節症の発症機構の解明	眞田 洋平	未来医療センター	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
悪性高熱症の新規原因遺伝子の探索	野田 祐子	麻酔科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
去勢抵抗性前立腺癌におけるPRL1を標的とした新規治療戦略の開発	福岡 憲一郎	泌尿器科	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
間質性肺炎急性増悪の治療標的分子同定および体外式模型人工肺を用いた新規治療法開発	木田 佳子	救急集中治療科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
重症呼吸不全患者の気道および血液検体を用いた多角的病態解明および新規治療法開発	田邊 優子	救急集中治療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
反復舌運動検査とトレーニング法の新開発	比嘉 千亜己	咬合・義歯診療科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
悪性腫瘍合併脳梗塞のバイオマーカー、マイクロRNAによる革新的アプローチの探索	祢津 智久	脳神経内科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
パーキンソン病の疾患特異的な筋活動に着目した新規評価ツールの確立とその臨床応用	西川 裕一	診療支援部	300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
カーボンナノチューブセンサーを用いた大規模ACL損傷リスク評価システムの開発	平田 和彦	診療支援部	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
神経堤細胞由来間葉系幹細胞と細胞集塊培養技術を用いた新規歯周組織再生療法開発	栗原 英見	歯周診療科	5,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
MMD2変異マウスを用いた侵襲性歯周炎の病態解明	水野 智仁	歯周診療科	4,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌幹細胞ニッチにおける制御性ケミカルメッセンジャー機能の解明と診断治療応用	岡本 哲治	顎・口腔外科	3,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
他家iPS細胞を用いたHLA適合移植後の新たな拒絶機構の解明と克服法の開発	大坂 秀樹	消化器外科	6,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
三次元間葉系幹細胞集塊を細胞製剤として応用する新規歯周組織再生療法開発	本池 総太	歯周診療科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
fMRIニューロフィードバック法による慢性疼痛の神経科学的修復機構の解明	吉野 敦雄	精神科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
PTSDの発症機構に即した予防法と神経活動操作による新規治療法の開発	淵上 学	精神科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
認知機能と報酬予測機能の安静時fMRI指標開発とうつ状態バイオタイプ同定への応用	岡田 剛	精神科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
非アルコール性脂肪性肝炎に対するペリオスチンアンチセンス核酸の医薬応用	菅野 啓司	総合診療科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
インターフェロンによるB型肝炎ウイルス増殖抑制メカニズムに関する検討	柘植 雅貴	消化器・代謝内科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
血管内皮細胞培養シートを用いた蕁麻疹モデルの構築と血液凝固因子の役割の解明	秀 道広	皮膚科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ヒトマウスによる抗ドナー特異的HLA抗体産生機序の解明と個別化治療への臨床応用	田原 裕之	消化器外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
肝癌循環腫瘍細胞の免疫回避機構解明と制御法の開発	小林 剛	消化器外科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
抗炎症効果の高い間葉系幹細胞を微重力培養して用いた虚血心筋細胞の保護と再生	黒崎 達也	総合医療研究推進センター	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
悪性高熱症の新規原因遺伝子の機能解析	安田 季道	麻酔科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金

計25件

敗血症性脳症の発症メカニズム解明および新たな治療法確立	細川 康二	集中治療部	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
神経ペプチドを標的とした変形性関節症の新規治療戦略策定に向けた分子機序解明	中佐 智幸	未来医療センター	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
去勢抵抗性前立腺癌オルガノイドの樹立とその解析による個別化医療の確立	亭島 淳	泌尿器科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大脳機能、聴覚賦活化による加齢性平衡障害の予防・治療法の確立	工田 昌也	耳鼻咽喉科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
角膜感染症に対する光線力学的化学療法(PACT)の臨床応用	近間 泰一郎	眼科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯周炎で誘導されるRNA結合蛋白HuRを介した関節リウマチ悪化メカニズムの解明	應原 一久	歯周診療科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
新しい咀嚼破砕圧検査の開発	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
インプラント支持を可能とする生体活性チタン多孔体を用いた骨再建療法の確立	土井 一矢	口腔インプラント診療科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
無血清培養系における口腔癌患者由来活性化リンパ球からのiPS細胞の樹立と治療応用	山崎 佐知子	顎・口腔外科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌由来Side Population細胞の癌幹細胞としての特性解析	虎谷 茂昭	顎・口腔外科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
血中循環口腔癌細胞の分離とその細胞特性解析によるリキッドバイオプシーの確立研究	小泉 浩一	顎・口腔外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
骨形成能と抗菌活性を有する高機能性連通多孔体ハイドロキシアパタイトの開発	武知 正晃	口腔顎顔面再建外科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
側坐核のドーパミン神経刺激による下行性鎮痛系の増強を応用した新しい全身麻酔法の開発	入船 正浩	歯科麻酔科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌細胞のEMT調節機構におけるZIPファミリー分子の解析	島末 洋	口腔顎顔面再建外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
プロバイオティクスによる周術期口腔機能管理の有用性	河口 浩之	口腔総合診療科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
動脈硬化患者におけるプロポーフォール使用時の中心血圧低下の機序と予測因子	岡田 芳幸	障害者歯科	200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
RFID技術を活用した個人線量計装着検知システムの構築	田村 恵美	診療支援部	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
地域枠出身医師の進路に関するコホート研究とエビデンスに基づく政策の提案	松本 正俊	総合診療科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
膝前十字靱帯再建術後に再断裂を生じる重層的因子解明への新規アプローチ	中前 敦雄	整形外科	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
糖尿病網膜症患者に対して眼底出血を生じさせない新しい運動指針の確立	河江 敏広	診療支援部	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ロボットによる下肢切断術後早期荷重とneurorehabilitation	木村 浩彰	リハビリテーション科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ロービジョン患者が利用しやすい医療機関Webページのコンテンツ要件の定義	田中 武志	地域連携歯科医療部	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
難治性造血器腫瘍におけるPVT1-MYC融合遺伝子の解析および臨床応用	名越 久朗	血液内科	400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
通信用微弱電波を用いた非侵襲的かつ携帯型の新規乳癌検診画像システムの開発	笹田 伸介	乳腺外科	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
直腸癌個別化医療に向けたDNA修復能に基づく治療効果及び有害事象予測指標の構築	今野 伸樹	放射線治療科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金

計25件

MRIを用いた胎児骨描出に関する研究	松原 佳子	放射線診断科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
機械学習を使用したロバスト最適化放射線治療計画法の確立	三浦 英治	放射線治療科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
新生児期早期の腸内細菌叢が制御性T細胞を介して宿主免疫に及ぼす影響	早川 誠一	周産母子センター	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
若年発症の抗NMDAR脳炎における遺伝素因の検討	小林 良行	小児科	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
マウス腫瘍同所移植モデルを用いた炎症性癌微小環境の研究	林 亮平	内視鏡診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
早期胃癌リンパ節転移陰性条件に関する分子病理学的解析	佐野村 洋次	内視鏡診療科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ヒト培養肝細胞を用いた非アルコール性脂肪肝炎のin vitroモデルの作成	村上 英介	消化器・代謝内科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
肺癌患者における薬剤性肺障害の病態解明：RAGE/HMGB1 axisの観点から	山口 覚博	呼吸器内科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
癌幹細胞の形質維持に対するPAI-1の関与の検討；進行肺癌を治癒に導く治療の開発	益田 武	呼吸器内科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
アトピー性皮膚炎由来黄色ブドウ球菌の標的抗原とその制御物質の探索	岩本 和真	皮膚科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
膵癌に対する化学療法における、効果予測のバイオマーカーを用いた個別化治療の確立	近藤 成	消化器外科	700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
次世代シーケンズ法を用いたARDS末梢気道細菌叢解析による多角的病態解明	京 道人	高度救命救急センター	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
好塩基球活性化に着目したアナフィラキシーの病態解明と新規治療戦略の確立	山賀 聡之	救急集中治療科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ヒト頭蓋骨髄間質細胞は重症神経疾患に対する新しい再生治療ソースとなるか？	光原 崇文	脳神経外科	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
前立腺オルガノイドを用いた慢性前立腺炎/慢性骨盤痛症候群の病態解明	北野 弘之	感染症課	1,900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Bio Tubeを用いた集合リンパ管再生研究	吉田 周平	国際リンパ浮腫治療センター	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
フェニトイン・ニフェジピン誘導性歯肉増殖症のメカニズム解明	岡信 愛	歯周診療科	1,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
細胞制御機能性メンブレンの新規開発	沖 佳史	口腔インプラント診療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌におけるSnailを介した癌幹細胞特性の後天的獲得機構の解明	植月 亮	口腔顎顔面再建外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯由来の間葉系幹細胞におけるTh1系サイトカインによる新規分化誘導調節機構の解明	石田 陽子	口腔顎顔面再建外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
下顎頭軟骨破壊機序の解明とコールドレーザーを応用した変形性顎関節症治療法の確立	柄 優至	矯正歯科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
プロバイオティクス(L8020菌)を用いた障害者の歯周病発症リスクの軽減	尾田 友紀	障害者歯科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
変形性膝関節症進行抑制に向けた膝関節急速内反運動改善に対する介入研究	島田 昇	診療支援部	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
敗血症患者に対する生活の質改善のための早期リハビリテーション方法の構築	對東 俊介	診療支援部	400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
MHC交差性T細胞応答の構造生物学的基盤の解明による獲得免疫系の新しい理解	一戸 辰夫	血液内科	2,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金

計25件

肺癌診療でのCT検査の安全性を探索ハイスループット放射線被曝評価法の開発	岡田 守人	呼吸器外科	2,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
マルチオミックス解析を用いた原発性免疫不全症の病因病態解析	岡田 賢	小児科	4,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
細胞診検体を用いてmiRNAとlncRNAを標的とする胆管癌の診断モデルの構築	有廣 光司	病理診断科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Cureを可能とする関節リウマチの早期予測バイオマーカーの創出	平田 信太郎	リウマチ・膠原病科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
アルツハイマー病におけるタウ蛋白凝集機構のモデル細胞確立	高橋 哲也	脳神経内科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
表情認知に着目した大うつ病性障害と双極性障害の新たな鑑別法の創出	撰 尚之	精神科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
がんサバイバーの慢性疼痛に対する認知行動療法の施行と神経科学的基盤の解明	倉田 明子	精神科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
自閉スペクトラム症児の母子関係強化に関する遺伝子多型解析と脳機能画像研究	梶梅 あい子(山崎)	小児科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
食道癌化学放射線療法における人工知能を用いた治療効果予測モデルの開発	村上 祐司	放射線治療科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
腎虚血再灌流障害後に食塩感受性高血圧が発症する機序の解明	土井 盛博	透析内科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
OSMR β の機能異常からみる皮膚そう痒の新規機序	田中 暁生	皮膚科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
TALENを用いたゲノム編集によるユニバーサルな抗原特異的制御性T細胞の開発	川瀬 孝和	血液内科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
関節リウマチ患者由来抗シトルリン化ペプチド抗体を用いた破骨細胞分化抑制剤の開発	杉山 英二	リウマチ・膠原病科	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ベージュ脂肪細胞の機能維持に必要な因子の探索と機能解析	大野 晴也	呼吸器内科	2,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
脂肪肝切除における肝不全と周術期の癌進展におけるメカニズム解析・新規治療法の開発	黒田 慎太郎	消化器外科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
胸腺上皮性腫瘍の免疫逃避機構解明と免疫療法の開発	宮田 義浩	呼吸器外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
中性子捕捉療法に対するホウ素修飾アデノウイルスベクターの臨床応用へ向けて	濱 聖司	脳神経外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
脊髄損傷ラットに対する微小重力環境培養を行った頭蓋骨由来間葉系幹細胞移植	武田 正明	脳神経外科	2,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
MSC由来エクソソームを用いた新たなデリバリーシステムと骨肉腫治療の開発	古田 太輔	整形外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大腿骨頭壊死症に対するmicroRNAを診断マーカーとした新たな診断法の確立	庄司 剛士	整形外科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
磁気ターゲティングを用いた勃起不全における新規治療アプローチの展開	井上 省吾	泌尿器科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
転写超保存領域T-UCRを標的とした去勢抵抗性前立腺癌の新規診断・治療法の開発	松原 昭郎	泌尿器科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
抗がん剤耐性膀胱がんにおける抗NOTCH2抗体と抗PD-1抗体併用療法の確立	林 哲太郎	泌尿器科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
菌性感染慢性炎症性早産マウスを用いた黄体ホルモンによる早産予防、抗炎症作用の検討	占部 智	周産母子センター	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
上気道好酸球性炎症の表現型解析による精密医療の開発	竹野 幸夫	耳鼻咽喉科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金

計25件

立体間葉系幹細胞集塊と軟骨誘導を利用した他家移植歯周組織再生療法開発	加治屋 幹人	歯周診療科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
創薬スクリーニングによるNR4A1を標的にした薬物性歯肉増殖症の治療薬の探索	松田 真司	歯周診療科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
抗菌活性を再生できる新規抗菌性接着システムの開発	岡崎 洋平	口腔インプラント診療科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
誤嚥性肺炎患者の経口摂取可否を客観的に診断するための科学的根拠の確立	吉田 光由	口腔インプラント診療科	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
多孔質セラミックスを用いた高機能培養骨による顎骨再建の臨床応用に向けた基礎的研究	多田 美里(平岡)	顎・口腔外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌に対する高精度高線量率組織内照射の規格化	柿本 直也	歯科放射線科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
TMEM16E変異による顎骨に生じる硬組織形成線維性病変の発症メカニズムの解明	水田 邦子	口腔顎顔面再建外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
細胞接着分子を標的とした選択的オートファジー誘導による口腔癌転移阻止療法の開発	林堂 安貴	顎・口腔外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
HBp17/FGFBPを制御するエクソソーム由来miRNAによる口腔癌治療の開発	新谷 智章	口腔検査センター	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌の治療抵抗性獲得機構の解析	東川 晃一郎	口腔顎顔面再建外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌幹細胞ニッチにおけるT細胞抑制性リガンドPD-L1の発現動態と病態解析研究	谷 亮治	顎・口腔外科	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
変形性顎関節症の発症メカニズムの解明とNFATc阻害剤を用いた新規治療法の確立	廣瀬 尚人	矯正歯科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
機能性アメログニンペプチドを応用した骨オルガノイド作製と骨再生への展開	吉見 友希	矯正歯科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
コールドレーザーを応用した歯の移動時の歯周組織代謝誘導能と疼痛軽減の作用機序解明	國松 亮	矯正歯科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
咽喉頭癌放射線治療後のモバイルアプリケーションによる音声リハビリテーションの効果	對東 真帆子	看護部	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
情報サービス利用者の行動や思考を支援する機能の今後のあり方 ～電子カルテを例に～	津久間 秀彦	医療情報部	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
没入型内視鏡画像処理機能と力学提示を応用した安全な内視鏡外科手術システムの開発	恵木 浩之	消化器外科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
放射線治療における治療計画および照射位置精度管理の第三者調査手法の開発	小澤 修一	放射線治療科	1,400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Integrator complex による脂肪細胞分化制御機構の解明	大谷 裕一郎	総合診療科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大腸癌に対する間質反応抑制剤と免疫チェックポイント阻害剤との併用療法の効果の検討	弓削 亮	内視鏡診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
免疫チェックポイント阻害剤と他の癌治療を併用した際の細胞障害性T細胞活性の検証	坂本 信二郎	呼吸器内科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
若年性ミオクロニートかんにおける脳磁図所見のデータベース化に向けて	香川 幸太	脳神経外科	1,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
内臓動脈瘤のコンピュータシミュレーションによる血流動態解析	三谷 英範	放射線診断科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
経皮的椎体形成術における骨セメント漏出予防のためのラジオ波焼灼および骨強度の研究	帖佐 啓吾	放射線部	600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
画像誘導放射線治療の患者被ばく線量評価システムの開発と画質を考慮した最適化の挑戦	日置 一成	放射線治療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金

計25件

放射線治療における不均質補正の第三者評価システムの開発	中尾 稔	放射線治療科	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
STAT1機能獲得型変異が自己免疫性の内分泌障害を引き起こす分子病態の解明	香川 礼子	小児科	1,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
PCCRCの病態解明にむけた試み	二宮 悠樹	内視鏡診療科	400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
内皮型一酸化窒素合成酵素(eNOS)制御における時計遺伝子DEC1の役割の解明	丸橋 達也	循環器内科	1,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
心血管疾患発症予防を目的とした中性脂肪の治療目標値の推定	梶川 正人	未来医療センター	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
メタボローム解析によるアルドステロン産生腺腫の治療標的因子や診断マーカーの開発	小武家 和博	内分泌・糖尿病内科	1,900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
粉末siRNA製剤を用いたCCL15を標的とする気管支喘息の新規経気道治療の開発	宮本 真太郎	医療安全管理部	300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
IPFの新規バイオマーカーおよび治療標的としてのIL-18BPの有用性	堀益 靖	呼吸器内科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ケラチノサイト由来神経ペプチドによる皮膚2型炎症反応制御機構の解明	松尾 佳美	皮膚科	1,900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
単一細胞解析を基盤にしたアルドステロン合成機構の解明と創薬標的因子の同定	一町 澄宜	内分泌・糖尿病内科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
高次脳機能評価に基づく成長ホルモン補充療法の効果判定と補充療法適応指針の作成	木下 康之	脳神経外科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ベージュ脂肪細胞におけるUCP1非依存性熱産生機構の解明	長野 学	内分泌・糖尿病内科	2,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
乳癌幹細胞および制御性T細胞の定量化による新たな薬物療法の効果予測法	末岡 智志	乳腺外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
呼吸器外科領域における経皮的血液ガスモニタリング機器使用の有用性及び安全性の検討	藤原 誠	呼吸器外科	2,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
パクリタキセルによる神経障害性疼痛に対する抑肝散の鎮痛効果の検討	加藤 貴大	麻酔科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
線維芽細胞を用いた悪性高熱症の低侵襲的診断法の確立	近藤 隆志	麻酔科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
黄色ブドウ球菌肺炎の重症化に関わる病原因子の解明	稲川 高紘	救急集中治療科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
脊髄損傷における頭蓋骨由来間葉系幹細胞を用いた新たな再生医療の開発応用	阿美古 将	脳神経外科	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
カーボンナノチューブによる末梢神経再生促進効果の解明と新たな人工神経開発への応用	兒玉 祥	整形外科	1,900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ゲノム編集法を用いた関節リウマチ滑膜におけるサブタイプバリエーションの役割の解明	茂久田 翔	リウマチ・膠原病科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
前立腺癌オルガノイドを用いた癌幹細胞性転写超保存領域の探索と治療への応用	関野 陽平	泌尿器科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
卵巣粘液性癌に対するバイオマーカーとしてのCDX2の発現動態の解明	古宇 家正	周産母子センター	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
角膜実質細胞の分化における小胞体ストレス応答の働き	宮城 秀考	眼科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
HMGB1-RAGE axis制御による菌周炎及び血糖値の改善メカニズムの解明	芥川 桂一	歯科保存診療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯周組織で誘導されるHuRおよびエクソソームを介した関節リウマチ増悪機序の解明	宗永 修一	口腔総合診療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金

計25件

浸潤 γ δ T細胞による新規歯髄硬組織誘導メカニズムの解明	進藤 智	歯科保存診療科	1,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯髄炎におけるsemaphorin7Aの生理学的機能の解析と臨床応用	西藤 法子	歯科保存診療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞集塊のメカノトランスダクション制御による骨様組織の創生と再生医療応用	小松 奈央	歯周診療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
骨形成促進型ハイドロキシアパタイトを用いた骨粗鬆症に対する骨再生療法の確立	牧原 勇介	口腔インプラント診療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
FGF受容体シグナル阻害を用いたインプラント周囲炎骨欠損に対する骨再生療法の確立	横井 美有希	咬合・義歯診療科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
補綴治療による機能回復の個別化予測モデルの開発	森 隆浩	口腔インプラント診療科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
EMTを介した口腔癌の浸潤機構におけるAnnexinA8の解析	石田 扶美(田中扶美)	口腔顎顔面再建外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
メタゲノム・メタ16S解析を用いた口腔癌患者の腸内並びに口腔内細菌叢の多様性解析	松井 健作	顎・口腔外科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
唾液腺組織における幹/前駆細胞の機能解析と無血清オーガノイド培養法の開発	廣田 傑	顎・口腔外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
顎顔面口腔領域遺伝性疾患特異的iPSCの樹立・ゲノム手術・疾患モデルに関する研究	濱田 充子	顎・口腔外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
無血清培養系での歯髄由来iPS細胞の未分化性の維持に關与する細胞増殖因子群の同定	田口 有紀	顎・口腔外科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
CD133陽性・陰性口腔癌細胞の細胞接着分子の翻訳後修飾の解析と診断治療応用	坂上 泰士	顎・口腔外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
骨基質小胞中microRNAによる骨代謝調節機構の解明と効率的歯牙移動への応用	中尾 裕子	矯正歯科	2,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
乳歯歯髄由来間葉系幹細胞のエクソソームを応用した低侵襲性顎裂閉鎖治療法の確立	阿部 崇晴	矯正歯科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
フラボノイド創薬による歯周組織代謝活性の解明と歯根吸収抑制治療への臨床応用	木村 綾	矯正歯科	1,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
アセトアミノフェンのCOX阻害作用の解明と歯根吸収抑制治療への応用	山本 多栄子	矯正歯科	1,900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
成長ホルモン補充療法と機能的矯正装置を併用した新規矯正歯科治療法の確立	栗田 哲也	矯正歯科	1,800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
顎関節症に伴う僧帽筋および胸鎖乳突筋における関連痛の発症機序の解明	堀江 佳代	矯正歯科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
カンボジアや東南アジア地域における小児への歯科保健教育モデルの開発	岩本 優子	小児歯科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
西日本豪雨の介護保険サービスへの影響に関する後ろ向きコホート研究	吉田 秀平	総合診療科	1,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
総合健診における検査値の有意な変化量推定の新しいアプローチとその有用性の評価	川野 伶緒	総合医療研究推進センター	200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
慢性肝炎患者におけるサルコペニアおよび肝組織改善のための運動療法プログラムの確立	筆保 健一	診療支援部	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ALS患者の経口摂取延伸を目指すPAP療法最適期間の解明	平岡 綾	口腔インプラント診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
肺腺癌のATP関連がん代謝型Glycolysis/OXPHOS評価と薬物耐性克服	見前 隆洋	呼吸器外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
乳歯歯髄由来間葉系幹細胞における骨再生メカニズムの解明と最適な細胞移植条件の探索	中島 健吾	矯正歯科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金

計25件

不飽和脂肪酸およびレゾルビンを応用した顎関節症治療法の新規確立	矢野下 真	矯正歯科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
一生細胞解析による小児腫瘍における次世代Cancer Liquid Biopsy	檜山 英三	小児外科	18,900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ユニークな表現型を示すB細胞による新規癌免疫回避機構の解明と制御法の開発	大段 秀樹	消化器外科	14,900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
特定の病原体に対する易感染性に着眼した原発性免疫不全症の病因病態解明	岡田 賢	小児科	4,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
変形性関節症における老化細胞エクソソームの解明と機械学習を利用した治療薬の探索	味八木 茂	未来医療センター	4,600,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大腸癌のサブクラス分類に対応するマウスモデルとオルガノイドの確立とその臨床応用	檜井 孝夫	遺伝子診療科	1,023,023	補	文部科学省科学研究費補助金
術中簡易電気生理学的診断を元にした低侵襲で効果的な心房細動手術法の開発と確立	中野 由紀子	循環器内科	20,000	補	文部科学省科学研究費補助金
血液網膜バリアに着目したVEGFを標的としない加齢黄斑変性の治療法の開発	原田 陽介	眼科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
シミュレーション医療教育標準化のための日本発仮想患者モジュールの開発	黒崎 達也	総合医療研究推進センター	500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
圧流量特性モデルに基づく人工心肺装置操作支援システムの提案	黒崎 達也	総合医療研究推進センター	60,000	補	文部科学省科学研究費補助金
出血熱のエクソソームマイクロRNA解析	福島 伯泰	血液内科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
吸入麻酔薬の心筋保護作用とマイクロドメイン・ミトコンドリアダイナミクスの役割	堤 保夫	麻酔科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
低線量・低線量率放射線被ばくが疾病モデル動物の全身免疫能に及ぼす影響	一戸 辰夫	血液内科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
パターン投影と深層学習を利用した頑健で高精度な3次元内視鏡システム	田中 信治	内視鏡診療科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
パターン投影と深層学習を利用した頑健で高精度な3次元内視鏡システム	岡 志郎	消化器・代謝内科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
発がんリスク遺伝子とライフスタイルに着目した小児がん経験者の生活に関する探索研究	檜山 英三	小児外科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ゲノム編集を用いたBDNFメチル化操作による新規うつ病モデル・マーカー・治療開発	淵上 学	精神科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
肝臓がんの多角的オミックス解析による分子機構の解明	相方 浩	消化器・代謝内科	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
放射線治療施設におけるリアニック出力線量測定データ収集・分析・管理システムの開発	小澤 修一	放射線治療科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Systems Bone Biology～骨・軟骨疾患の発症予測から疾患予防へ	味八木 茂	未来医療センター	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
世界最高速の光偏向方式OCTによる3次元組織構造計測と間接軟骨組織評価への応用	石川 正和	整形外科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔顎顔面画像指標による生活習慣病関連骨質劣化型骨折スクリーニング法の開発	東 幸仁	未来医療センター	200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
次世代シーケンサーによる剥離上皮膜を有する要介護高齢者の口腔と咽頭の細菌叢解析	岡田 芳幸	障害者歯科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ZIP10を標的とした癌転移開始細胞の抑制を基盤とした新しい抗転移療法	三原 圭一朗	血液内科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
本邦の集中治療領域における新たなQuality indicatorの構築	志馬 伸朗	救急集中治療科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金

計25件

初期化と遺伝子変異の導入によるヒト口腔癌を模倣した新規癌幹細胞モデルの確立	岡本 哲治	顎・口腔外科	300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
スタチンの血管新生作用と骨形成作用による薬剤関連顎骨壊死の予防・治療法の開発	中川 貴之	口腔顎顔面再建外科	1,104,690	補	文部科学省科学研究費補助金
バイオミネラル生成プロセスへの蛋白分解酵素の導入とエナメル質再生修復への応用	谷本 幸太郎	矯正歯科	2,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
デンタルジュニア・サイエンスプロジェクト	谷本 幸太郎	矯正歯科	160,000	補	文部科学省科学研究費補助金
慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略	吉野 敦雄	精神科	200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ディスレクシア児の読字における視覚言語情報処理の特性と発達に関する脳科学研究	梶梅 あい子	小児科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
多元的音情報に基づく口腔機能・摂食嚥下機能評価システムの開発と検証	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	250,000	補	文部科学省科学研究費補助金
長鎖非翻訳RNAによる歯周炎発症制御機構の解明	土屋 志津	歯科保存診療科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
消化器癌に対するプラズマバブル噴霧投与の開発と臨床応用	工藤 美樹	産婦人科	230,000	補	文部科学省科学研究費補助金
細胞外エクソソームによるSurvivin発現の制御機構の解明と治療・診断への応用	濱 聖司	脳神経外科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
肺・肝以外の諸臓器における定位放射線治療の効果と安全性の評価	木村 智樹	放射線治療科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
「血液粘度比」で人工肺不良の原因を検出する:連続評価可能な新指標の提案と臨床応用	宮本 聡史	診療支援部	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
マルチセンタリサーチによる日中覚醒時プラキシズムの診断基準確率への挑戦	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	140,000	補	文部科学省科学研究費補助金
マルチセンタリサーチによる日中覚醒時プラキシズムの診断基準確率への挑戦	安部倉 仁	咬合・義歯診療科	140,000	補	文部科学省科学研究費補助金
思春期からの主体価値の発展過程解明	岡本 泰昌	精神科	10,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
薬剤性突然死症候群の遺伝的要因の解明と管理指針への応用	伊藤 英樹	医療安全管理部	882,280	補	文部科学省科学研究費補助金
6年制薬学教育および薬学部新設は薬剤師分布を改善したか-人口地理指標からの分析-	松本 正俊	総合診療科	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
スーパーマイクロ手術とバイオ3Dプリンティングによる、ハイブリッドリンパ浮腫治療	吉田 周平	国際リンパ浮腫治療センター	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
がん臨床試験における患者の意思決定支援のための学習プログラム開発と実践知の可視化	吉村 健一	総合医療研究推進センター	50,000	補	文部科学省科学研究費補助金
深層学習を用いた仮想高線量化技術による放射線画像検査の被爆最小化	栗井 和夫	放射線診断科	180,000	補	文部科学省科学研究費補助金
逐次治療の評価における重み付き並び替え法を用いた新規推定法の開発	吉村 健一	総合医療研究推進センター	745,514	補	文部科学省科学研究費補助金
カーボンナノチューブと吸収性コラーゲンメンブレンを用いた人工靱帯の開発	亀井 豪器	整形外科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
大腸癌における癌幹細胞及びEMT制御に関するメカニズムの作用機序の解析	高倉 有二	消化器外科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
歯周病原細菌による腸管上皮フコシル化抑制が関節リウマチを増悪させる機序の解明	濱本 結太	歯周診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
低宿主細胞障害性へパリン・LL37 複合体を用いた新規歯内療法確立	吉田 和真	歯科保存診療科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金

計25件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Kajikawa M, Maruhashi T, Hidaka T他	未来医療センター	Coffee with a high content of chlorogenic acids and low content of hydroxyhydroquinone improves postprandial endothelial dysfunction in patients with borderline and stage 1 hypertension	EUROPEAN JOURNAL OF NUTRITION. 2019APR;58(3):989-996	Article
2	Tamura T, Takasu M, Higaki T他	診療支援部	How to Improve the Conspicuity of Breast Tumors on Computed High b-value Diffusion-weighted Imaging	MAGNETIC RESONANCE IN MEDICAL SCIENCES. 2019; 18(2):119-125	Article
3	Urabe Y, Kagemoto K, Nakamura K他	未来医療センター	Construction of a risk model for the development of metachronous squamous cell carcinoma after endoscopic resection of esophageal squamous cell carcinoma	ESOPHAGUS. 2019APR;16(2):141-146	Article
4	Kataoka T, Fuchikami M, Nojima S他	精神科	Combined brain-derived neurotrophic factor with extinction training alleviate impaired fear extinction in an animal model of post-traumatic stress disorder	GENES BRAIN AND BEHAVIOR. 2019SEP;18(7):	Article
5	Sueoka K, Chikama T, Pertiwi YD他	眼科	Antifungal efficacy of photodynamic therapy with TONS 504 for pathogenic filamentous fungi	LASERS IN MEDICAL SCIENCE. 2019JUN;34(4):743-747	Article
6	Hayashi R, Ueno Y, Tanaka S他	内視鏡診療科	Rectal Lymphoid Follicle Aphthous Lesions Frequently Progress to Ulcerative Colitis with Proximal Extension	INTERNAL MEDICINE. 2019; 58(5):625-631	Article
7	Nagaoki Y, Imamura M, Nishida Y他	消化器・代謝内科	The impact of interferon-free direct-acting antivirals on clinical outcome after curative treatment for hepatitis C virus-associated hepatocellular carcinoma: Comparison with interferon-based therapy	JOURNAL OF MEDICAL VIROLOGY. 2019APR;91(4):650-658	Article
8	Kobayashi T, Kanno K, Kikuchi Y他	総合内科・総合診療科	An Atypical Case of Non-asthmatic Eosinophilic Granulomatosis with Polyangiitis Finally Diagnosed by Tissue Biopsy	INTERNAL MEDICINE. 2019; 58(6):871-875	Article
9	Shindo S, Hosokawa Y, Hosokawa I他	歯科保存診療科	Interleukin (IL)-35 Suppresses IL-6 and IL-8 Production in IL-17A-Stimulated Human Periodontal Ligament Cells	INFLAMMATION. 2019JUN; 42(3):835-840	Article
10	Nakamoto T, Sui Y, Konishi M他	歯科放射線科	Abnormal positioning of the common carotid artery clinically diagnosed as a submandibular mass	ORAL RADIOLOGY. 2019SEP;35(3):331-334	Article

計10件

11	Takahara D, Kono T, Takeno S他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Nasal nitric oxide in the inferior turbinate surface decreases with intranasal steroids in allergic rhinitis: A prospective study	AURIS NASUS LARYNX. 2019AUG;46(4):507-512	Article
12	Konishi M, Verdonchot RG, Shimabukuro K他	歯科放射線科	The effectiveness of mouthwashes in alleviating radiation-induced oral mucositis in head and neck cancer patients: a systematic review	ORAL RADIOLOGY. 2019SEP;35(3):207-223	Review
13	Handa Y, Tsutani Y, Mimae T他	呼吸器外科	Surgical Outcomes of Complex Versus Simple Segmentectomy for Stage I Non-Small Cell Lung Cancer	ANNALS OF THORACIC SURGERY. 2019APR;107(4):1032-1039	Article
14	Yoshida M, Endo Y, Nishimura R他	口腔インプラント診療科	Palatal augmentation prosthesis (PAP) can improve swallowing function for the patients in rehabilitation hospital	JOURNAL OF PROSTHODONTIC RESEARCH. 2019APR;63(2):199-201	Article
15	Hata K, Ito M, Boda T他	消化器・代謝内科	Gastric Cancer with Submucosal Invasion after Successful Helicobacter pylori Eradication: A Propensity Score-Matched Analysis of Patients with Annual Patient Endoscopic Survey	DIGESTION. 2019;99(1):59-65	Article; Proceedings Paper
16	Ueno H, Norose K, Kamimura T他	脳神経内科	Metastatic Malignant Lymphoma Mimicking Cerebral Toxoplasmosis with the "Target Sign"	INTERNAL MEDICINE. 2019;58(8):1157-1162	Article
17	Miwata K, Masuda T, Yamaguchi K他	呼吸器内科	Performance Status Is a Risk Factor for Depression before the Diagnosis of Lung Cancer Patients	INTERNAL MEDICINE. 2019;58(7):915-920	Article
18	Kurisu S, Nitta K, Sumimoto Y他	循環器内科	Myocardial perfusion defect assessed by single-photon emission computed tomography and frontal QRS-T angle in patients with prior anterior myocardial infarction	HEART AND VESSELS. 2019JUN;34(6):971-975	Article
19	Tsuboi A, Oka S, Tanaka S他	消化器・代謝内科	The Clinical Usefulness of the PillCam Progress Indicator for Route Selection in Double Balloon Endoscopy	INTERNAL MEDICINE. 2019;58(10):1375-1381	Article
20	Nakasa T, Ikuta Y, Tsuyuguchi Y他	未来医療センター	Application of a peripheral vein illumination device to reduce saphenous structure injury caused by screw insertion during arthroscopic ankle arthrodesis	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE. 2019JUL;24(4):697-701	Article

計10件

21	Sasada S, Masumoto N, Suzuki E他	乳腺外科	Prediction of biological characteristics of breast cancer using dual-phase FDG PET/CT	EUROPEAN JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE AND MOLECULAR IMAGING. 2019APR;46(4):831-837	Article
22	Nitta K, Kurisu S, Sumimoto Y他	循環器内科	Diagnostic value of peak filling rate derived from ECG-gated myocardial perfusion SPECT for detecting myocardial ischaemia in patients with non-obstructive coronary artery disease	ACTA CARDIOLOGICA. 2020JAN 2;75(1):37-41	Article
23	Sugihara T, Yoneda M, Ohno H他	内分泌・糖尿病内科	Associations of nutrient intakes with obesity and diabetes mellitus in the longitudinal medical surveys of Japanese Americans	JOURNAL OF DIABETES INVESTIGATION. 2019SEP;10(5):1229-1236	Article
24	Hamai Y, Hihara J, Emi M他	消化器外科	Clinical Significance of F-18-Fluorodeoxyglucose-Positron Emission Tomography-Positive Lymph Nodes to Outcomes of Trimodal Therapy for Esophageal Squamous Cell Carcinoma	ANNALS OF SURGICAL ONCOLOGY. 2019JUN;26(6):1869-1878	Article
25	Okimoto S, Kuroda S, Tashiro H他	消化器外科	Vitamin A-coupled liposomal Rho-kinase inhibitor ameliorates liver fibrosis without systemic adverse effects	HEPATOLOGY RESEARCH. 2019JUN;49(6):663-675	Article
26	Kajikawa M, Higashi Y, Tomiyama H他	未来医療センター	Effect of short-term colchicine treatment on endothelial function in patients with coronary artery disease	INTERNATIONAL JOURNAL OF CARDIOLOGY. 2019APR 15;281():35-39	Article
27	Ikawa F, Morita A, Tominari S他	脳神経外科	Rupture risk of small unruptured cerebral aneurysms	JOURNAL OF NEUROSURGERY. 2020JAN;132(1):69-78	Article
28	Namba M, Kawaoka T, Aikata H他	消化器・代謝内科	Percutaneous transvenous shunt occlusion for portosystemic encephalopathy due to lenvatinib administration to a patient with hepatocellular carcinoma and portosystemic shunt	CLINICAL JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY. 2019AUG;12(4):341-346	Article
29	Kawahara A, Morioka T, Otani Y他	総合内科・総合診療科	Successful Treatment of Acute Chest Syndrome with Manual Exchange Transfusion in a Patient with Sickle Beta(+)-thalassemia	INTERNAL MEDICINE. 2019;58(11):1629-1634	Article
30	Yuge R, Fujii T, Shinagawa K他	内視鏡診療科	A Questionnaire Survey on the Sequence of Events Prior to Undergoing Colonoscopy: The Influence of the Behavioral Response after a Fecal Occult Blood Test on the Early Detection of Colorectal Cancer	INTERNAL MEDICINE. 2019;58(11):1541-1547	Article

計10件

31	Oi K, Tokunaga T, Kuranobu T他	リウマチ・膠原病科	Tumour necrosis factor alpha augments the inhibitory effects of CTLA-4-Ig on osteoclast generation from human monocytes via induction of CD80 expression	CLINICAL AND EXPERIMENTAL IMMUNOLOGY. 2019JUN; 196(3):392-402	Article
32	Masuda T, Nakashima T, Namba M他	呼吸器外科	Inhibition of PAI-1 limits chemotherapy resistance in lung cancer through suppressing myofibroblast characteristics of cancer-associated fibroblasts	JOURNAL OF CELLULAR AND MOLECULAR MEDICINE. 2019APR;23(4):2984-2994	Article
33	Kitagawa M, Murakami S, Akashi Y他	口腔検査センター	Current status of dental metal allergy in Japan	JOURNAL OF PROSTHODONTIC RESEARCH. 2019JUL;63(3):309-312	Article
34	Matsuda S, Okanobu A, Hatano S他	歯周診療科	Relationship between periodontal inflammation and calcium channel blockers induced gingival overgrowth—a cross-sectional study in a Japanese population	CLINICAL ORAL INVESTIGATIONS. 2019NOV; 23(11):4099-4105	Article
35	Kondo N, Uemura K, Nakagawa N他	消化器外科	A Multicenter, Randomized, Controlled Trial Comparing Reinforced Staplers with Bare Staplers During Distal Pancreatectomy (HiSCO-07 Trial)	ANNALS OF SURGICAL ONCOLOGY. 2019MAY;26(5):1519-1527	Article
36	Tsushima K, Tsuge M, Hiraga N他	消化器・代謝内科	Comparison of intracellular responses between HBV genotype A and C infection in human hepatocyte chimeric mice	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY. 2019JUL;54(7):650-659	Article
37	Honjo Y, Ichinohe T他	血液内科	Cellular responses to ionizing radiation change quickly over time during early development in zebrafish	CELL BIOLOGY INTERNATIONAL. 2019MAY; 43(5):516-527	Article
38	Yoshida S, Matsushima M, Wakabayashi H他	総合内科・総合診療科	Correlation of patient complexity with the burden for health-related professions, and differences in the burden between the professions at a Japanese regional hospital: a prospective cohort study	BMJ OPEN. 2019JUN;9(2):-	Article
39	Nishikawa Y, Watanabe K, Kawade S他	診療支援部	The effect of a portable electrical muscle stimulation device at home on muscle strength and activation patterns in locomotive syndrome patients: A randomized control trial	JOURNAL OF ELECTROMYOGRAPHY AND KINESIOLOGY. 2019APR;45():46-52	Article
40	Sakuda T, Kubo T, Johanna MP他	整形外科	Novel Near-Infrared Fluorescence-Guided Surgery With Vesicular Stomatitis Virus for Complete Surgical Resection of Osteosarcomas in Mice	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC RESEARCH. 2019MAY;37(5):1192-1201	Article

計10件

41	Matsumoto M, Kashima S, Owaki T他	総合内科・総合診療科	Geographic Distribution of Regional Quota Program Graduates of Japanese Medical Schools: A Nationwide Cohort Study	ACADEMIC MEDICINE. 2019AUG;94(8):1244-1252	Article
42	Maruhashi T, Kinoshita Y, Kajikawa M他	循環器内科	Relationship between home blood pressure and vascular function in patients receiving antihypertensive drug treatment	HYPERTENSION RESEARCH. 2019AUG;42(8):1175-1185	Article
43	Miura H, Ozawa S, Enosaki T他	放射線治療科	Effect of image quality on correlation modeling error using a fiducial marker in a gimbaled linear accelerator	REPORTS OF PRACTICAL ONCOLOGY AND RADIOTHERAPY. 2019MAR-APR;24(2):233-238	Article
44	Ishida N, Ishiyama K, Saeki Y他	消化器外科	Cotransplantation of preactivated mesenchymal stem cells improves intraportal engraftment of islets by inhibiting liver natural killer cells in mice	AMERICAN JOURNAL OF TRANSPLANTATION. 2019OCT;19(10):2732-2745	Article
45	Kurisu S, Nitta K, Suminoto Y他	循環器内科	Effects of deep inspiration on QRS axis, T-wave axis and frontal QRS-T angle in the routine electrocardiogram	HEART AND VESSELS. 2019SEP;34(9):1519-1523	Article
46	Fukui K, Masumoto N, Shiroma N他	診療支援部	Novel tumor-infiltrating lymphocytes ultrasonography score based on ultrasonic tissue findings predicts tumor-infiltrating lymphocytes in breast cancer	BREAST CANCER. 2019SEP;26(5):573-580	Article
47	Iwamoto K, Moriwaki M, Miyake R他	皮膚科	Staphylococcus aureus in atopic dermatitis: Strain-specific cell wall proteins and skin immunity	ALLERGOLOGY INTERNATIONAL. 2019JUL;68(3):309-315	Review
48	Nakamura Y, Higaki T, Nishihara T他	放射線診断科	Pseudo-random Trajectory Scanning Suppresses Motion Artifacts on Gadoteric Acid-enhanced Hepatobiliary-phase Magnetic Resonance Images	MAGNETIC RESONANCE IN MEDICAL SCIENCES. 2020;19(1):21-28	Article
49	Kawahara D, Ozawa S, Kimura T他	放射線治療科	Photon and electron backscatter dose and energy spectrum analysis around Lipiodol using flattened and unflattened beams	JOURNAL OF APPLIED CLINICAL MEDICAL PHYSICS. 2019JUN;20(6):178-183	Article
50	Ishikawa N, Tateishi Y, Tani H他	小児科	Clinical profiles associated with serum perampanel concentrations in children with refractory epilepsy	EPILEPSY & BEHAVIOR. 2019MAY;94():82-86	Article

計10件

51	Yamashita M, Okubo H, Kobuke K他	内分泌・糖尿病内科	Alteration of gut microbiota by a Westernized lifestyle and its correlation with insulin resistance in non-diabetic Japanese men	JOURNAL OF DIABETES INVESTIGATION. 2019NOV; 10(6):1463-1470	Article
52	Kajikawa M, Maruhashi T, Kishimoto S他	未来医療センター	Target of Triglycerides as Residual Risk for Cardiovascular Events in Patients With Coronary Artery Disease - Post Hoc Analysis of the FMD-J Study A	CIRCULATION JOURNAL. 2019MAY;83(5):1064-+	Article
53	Koshima I, Yoshida S, Imai H他	国際リンパ浮腫治療センター	Recent Topics on Fingertip Replantations Under Digital Block	HAND CLINICS. 2019MAY;35(2):179-+	Article
54	Matsushige T, Shimonaga K, Mizoue T他	脳神経外科	Focal Aneurysm Wall Enhancement on Magnetic Resonance Imaging Indicates Intraluminal Thrombus and the Rupture Point	WORLD NEUROSURGERY. 2019JUL;127():E578-E584	Article
55	Suzuki K, Kusunoki S, Tanigawa K他	高度救命救急センター	Comparison of three video laryngoscopes and direct laryngoscopy for emergency endotracheal intubation: a retrospective cohort study	BMJ OPEN. 2019JUN;9(3):-	Article
56	Izumi Y, Nakashima T, Masuda T他	呼吸器内科	Suplatast tosilate reduces radiation-induced lung injury in mice through suppression of oxidative stress	FREE RADICAL BIOLOGY AND MEDICINE. 2019MAY 20;136():52-59	Article
57	Kataoka T, Sakurashita H, Taogoshi T他	薬剤部	Comparison of Pegfilgrastim and Filgrastim for the Primary Prophylactic Effect for Preventing Febrile Neutropenia in Patients Undergoing Rituximab with Dose-adjusted EPOCH Chemotherapy	YAKUGAKU ZASSHI-JOURNAL OF THE PHARMACEUTICAL SOCIETY OF JAPAN. 2019APR;139(4):629-633	Article
58	Ishikawa N, Tani H, Kobayashi Y他	小児科	High Incidence of Renal Stones in Severely Disabled Children with Epilepsy Treated with Topiramate	NEUROPEDIATRICS. 2019JUN;50(3):160-163	Article
59	Teishima J, Inoue S, Hayashi T他	泌尿器科	Current status of prognostic factors in patients with metastatic renal cell carcinoma	INTERNATIONAL JOURNAL OF UROLOGY. 2019JUN;26(6):608-617	Review
60	Tatsugami F, Higaki T, Nakamura Y他	放射線診断科	Deep learning-based image restoration algorithm for coronary CT angiography	EUROPEAN RADIOLOGY. 2019OCT;29(10):5322-5329	Article

計10件

61	Akagi M, Nakamura Y, Higaki T他	放射線診断科	Deep learning reconstruction improves image quality of abdominal ultra-high-resolution CT	EUROPEAN RADIOLOGY. 2019NOV;29(11):6163-6171	Article
62	Kaku M, Yamamoto T, Yashima Y他	矯正歯科	Acetaminophen reduces apical root resorption during orthodontic tooth movement in rats	ARCHIVES OF ORAL BIOLOGY. 2019JUN;102():83-92	Article
63	Asaeda M, Deie M, Kono Y他	診療支援部	The relationship between knee muscle strength and knee biomechanics during running at 6 and 12 months after anterior cruciate ligament reconstruction	ASIA-PACIFIC JOURNAL OF SPORT MEDICINE ARTHROSCOPY REHABILITATION AND TECHNOLOGY. 2019APR;16():14-18	Article
64	Negi H, Takeuchi S, Kamei N他	整形外科	In Vitro Safety and Quality of Magnetically Labeled Human Mesenchymal Stem Cells Preparation for Cartilage Repair	TISSUE ENGINEERING PART C-METHODS. 2019JUN 1;25(6):324-333	Article
65	Yoshida K, Suzuki S, Kawada-Matsuo M他	歯科保存診療科	Heparin-LL37 complexes are less cytotoxic for human dental pulp cells and have undiminished antimicrobial and LPS-neutralizing abilities	INTERNATIONAL ENDODONTIC JOURNAL. 2019SEP;52(9):1327-1343	Article
66	Maeoka Y, Okamoto T, Wu Y他	腎臓内科	Renal medullary tonicity regulates RNF183 expression in the collecting ducts via NFAT5	BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS. 2019JUN 25;514(2):436-442	Article
67	Yoshida S, Koshima I, Imai H他	国際リンパ浮腫治療センター	Line production system for multiple lymphaticovenular anastomoses	JOURNAL OF PLASTIC RECONSTRUCTIVE AND AESTHETIC SURGERY. 2019AUG;72(8):1334-1339	Article
68	Yanase Y, Yoshizaki K, Kimura K他	皮膚科	Development of SPR Imaging-Impedance Sensor for Multi-Parametric Living Cell Analysis	SENSORS. 2019MAY 1;19(9):-	Article
69	Yorita N, Ito M, Boda T他	消化器・代謝内科	Potential of Helicobacter pylori-uninfected signet ring cell carcinoma to invade the submucosal layer	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY AND HEPATOLOGY. 2019NOV;34(11):1955-1962	Article
70	Fujikawa R, Ito C, Kira S他	内分泌・糖尿病内科	Longitudinal examination of pancreatic beta-cell function in Japanese individuals	JOURNAL OF DIABETES INVESTIGATION. 2020JAN;11(1):70-74	Article

計10件

71	Kakimoto N, Shimamoto H, Kitisubkanchana J他	歯科放射線科	T2 relaxation times of the retrodiscal tissue in patients with temporomandibular joint disorders and in healthy volunteers: a comparative study	ORAL SURGERY ORAL MEDICINE ORAL PATHOLOGY ORAL RADIOLOGY. 2019SEP;128 (3) :311-318	Article
72	Nakao M, Ozawa S, Yogo K他	放射線治療科	Tolerance levels of mass density for CT number calibration in photon radiation therapy	JOURNAL OF APPLIED CLINICAL MEDICAL PHYSICS. 2019JUN;20 (6) : 45-52	Article
73	Maruhashi T, Kajikawa M, Kishimoto S他	循環器内科	Relationships Between Calcium Channel Blockers and Vascular Function Tests	AMERICAN JOURNAL OF HYPERTENSION. 2019JUL;32 (7) :640-648	Article
74	Yoshino A, Okamoto Y, Jinnin R他	精神科	Role of coping with negative emotions in cognitive behavioral therapy for persistent somatoform pain disorder: Is it more important than pain catastrophizing?	PSYCHIATRY AND CLINICAL NEUROSCIENCES. 2019SEP; 73 (9) :560-565	Article
75	Yamashita K, Oka S, Tanaka S他	消化器・代謝内科	Preceding endoscopic submucosal dissection for T1 colorectal carcinoma does not affect the prognosis of patients who underwent additional surgery: a large multicenter propensity score-matched analysis	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY. 2019OCT;54 (10) :897-906	Article
76	Nitta K, Kurisu S, Nakamoto Y他	循環器内科	Coronary Artery Calcium Is Associated with Left Ventricular Diastolic Function Independent of Myocardial Ischemia Assessment by Myocardial Perfusion Single-Photon Emission Computed Tomography	INTERNATIONAL HEART JOURNAL. 2019MAY;60 (3) : 554-559	Article
77	Yoshida S, Koshima I, Imai H他	国際リンパ浮腫治療センター	Lymphatic flow restoration after stripping surgery for varicose veins: A case report	SAGE OPEN MEDICAL CASE REPORTS. 2019MAY;7 () :-	Article
78	Nakashima T, Liu T, Hu B他	呼吸器内科	Role of B7H3/IL-33 Signaling in Pulmonary Fibrosis-induced Profibrogenic Alterations in Bone Marrow	AMERICAN JOURNAL OF RESPIRATORY AND CRITICAL CARE MEDICINE. 2019OCT 15;200 (8) :1032-1044	Article
79	Kawahara D, Ozawa S, Yokomachi K他	放射線治療科	Improving automatic contrast agent extraction system using monochromatic CT number	AUSTRALASIAN PHYSICAL & ENGINEERING SCIENCES IN MEDICINE. 2019SEP;42 (3) : 819-826	Article
80	Mochizuki T, Tanabe K, Saito R他	消化器外科	Perioperative management of polycythemia vera with advanced gastric cancer: A case report	INTERNATIONAL JOURNAL OF SURGERY CASE REPORTS. 2019;58 () :224-227	Article

計10件

81	Shioya S, Masuda T, Yamaguchi K他	呼吸器内科	Comparison of anti-aminoacyl-tRNA synthetase antibody-related and idiopathic non-specific interstitial pneumonia	RESPIRATORY MEDICINE. 2019JUN;152 () :44-50	Article
82	Kajume T, Kobayashi M.,他	小児科	Supplemental education in early childhood may be associated with professional achievement	INTERNATIONAL JOURNAL OF MEDICAL EDUCATION. 2019MAY 24;10 () :106-110	Article
83	Ishii D, Matsushige T, Sakamoto S他	脳神経外科	Decreased Antiatherogenic Protein Levels are Associated with Aneurysm Structure Alterations in MR Vessel Wall Imaging	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES. 2019AUG;28 (8) : 2221-2227	Article
84	Hamaoka M, Kobayashi T, Tanaka Y他	消化器外科	Clinical significance of glypican-3-positive circulating tumor cells of hepatocellular carcinoma patients: A prospective study	PLOS ONE. 2019MAY 29;14 (5) :-	Article
85	Sato K, Ohira M, Shimizu S他	未来医療センター	Risk Factors for Refractory Ascites After Living Donor Liver Transplant	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS. 2019JUN;51 (5) :1516-1519	Article; Proceedings Paper
86	Mochizuki T, Ohira M, Hashimoto S他	消化器外科	Utility of Doppler Ultrasonography in Liver Transplantation With Celiac Axis Compression Syndrome: A Case Report	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS. 2019NOV;51 (9) :3103-3106	Article; Proceedings Paper
87	Mokuda S, Nakamichi R, Matsuzaki T他	リウマチ・膠原病科	Wwp2 maintains cartilage homeostasis through regulation of Adamts5	NATURE COMMUNICATIONS. 2019JUN 3;10 () :-	Article
88	Okada M, Kijima T, Aoe K他	呼吸器外科	Clinical Efficacy and Safety of Nivolumab: Results of a Multicenter, Open-label, Single-arm, Japanese Phase II study in Malignant Pleural Mesothelioma (MERIT)	CLINICAL CANCER RESEARCH. 2019SEP;25 (18) :5485-5492	Article
89	Matsushige T, Shimonaga K, Ishii D他	脳神経外科	Vessel Wall Imaging of Evolving Unruptured Intracranial Aneurysms	STROKE. 2019JUL;50 (7) : 1891-1894	Article
90	Ishikawa N, Tateishi Y, Tani H他	小児科	Successful treatment of intractable life-threatening seizures with perampanel in the first case of early myoclonic encephalopathy with a novel de novo SCN1A mutation	SEIZURE-EUROPEAN JOURNAL OF EPILEPSY. 2019OCT;71 () :20-23	Article

計10件

91	Nakayama S, Hirashio S, Yorishima H他	腎臓内科	Atypical reduction of plasma ADAMTS13 activity by a non-IgG-type inhibitor in a patient with hemolytic uremic syndrome caused by Shiga toxin-producing Escherichia coli	CEN CASE REPORTS. 2019NOV;8(4):266-270	Article
92	Miyagi H, Stanley AA, Chokshi TJ他	眼科	Comparison of automated vs manual analysis of corneal endothelial cell density and morphology in normal and corneal endothelial dystrophy-affected dogs	VETERINARY OPHTHALMOLOGY. 2020JAN;23(1):44-51	Article
93	Hiyama T, Harada Y, Doi T他	眼科	Early administration of adalimumab for paediatric uveitis due to Behcet's disease	PEDIATRIC RHEUMATOLOGY. 2019JUN 10;17():-	Article
94	Tajito S, Yamauchi K, Tsujimoto Y他	診療支援部	Does enhanced physical rehabilitation following intensive care unit discharge improve outcomes in patients who received mechanical ventilation? A systematic review and meta-analysis	BMJ OPEN. 2019JUN;9(6):-	Review
95	Kono Y, Deie M, Fujita N他	診療支援部	The Relationship between Knee Biomechanics and Clinical Assessments in ACL Deficient Patients	INTERNATIONAL JOURNAL OF SPORTS MEDICINE. 2019JUL;40(7):477-483	Article
96	Kaichi Y, Tanitame K, Terada H他	放射線診断科	Thyroid-associated Orbitopathy: Quantitative Evaluation of the Orbital Fat Volume and Edema Using IDEAL-FSE	EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY OPEN. 2019;6():182-186	Article
97	Sekino Y, Sakamoto N, Sentani K他	泌尿器科	miR-130b Promotes Sunitinib Resistance through Regulation of PTEN in Renal Cell Carcinoma	ONCOLOGY. 2019;97(3):164-172	Article
98	Hide M, Suzuki T, Tanaka A他	皮膚科	Long-term safety and efficacy of rupatadine in Japanese patients with itching due to chronic spontaneous urticaria, dermatitis, or pruritus: A 12-month, multicenter, open-label clinical trial	JOURNAL OF DERMATOLOGICAL SCIENCE. 2019JUN;94(3):339-345	Article
99	Masuda K, Urabe Y, Ito M他	消化器・代謝内科	Genomic landscape of epithelium with low-grade atypia on gastric cancer after Helicobacter pylori eradication therapy	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY. 2019OCT;54(10):907-915	Article
100	Osawa M, Uchida T, Inamura M他	消化器・代謝内科	Efficacy of glecaprevir and pibrentasvir treatment for genotype 1b hepatitis C virus drug resistance-associated variants in humanized mice	JOURNAL OF GENERAL VIROLOGY. 2019JUL;100(7):1123-1131	Article

計10件

101	Morii K, Yamasaki S, Doi S 他	透析内科	microRNA-200c regulates KLOTHO expression in human kidney cells under oxidative stress	PLOS ONE. 2019JUN 14;14(6):-	Article
102	Hirooka K, Nitta E, Ukegawa K 他	眼科	Effect of trabeculectomy on corneal endothelial cell loss	BRITISH JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY. 2020MAR;104(3):376-380	Article
103	Kiuchi Y, Yanagi M, Itakura K 他	眼科	Association between radiation, glaucoma subtype, and retinal vessel diameter in atomic bomb survivors	SCIENTIFIC REPORTS. 2019JUN 14;9():-	Article
104	Hamaoka M, Kobayashi T, Kuroda S 他	消化器外科	Experience and outcomes in living donor liver procurement using the water jet scalpel	JOURNAL OF HEPATO-BILIARY-PANCREATIC SCIENCES. 2019AUG;26(8):370-376	Article
105	Handa Y, Tsutani Y, Mimae T 他	呼吸器外科	Complex segmentectomy in the treatment of stage IA non-small-cell lung cancer	EUROPEAN JOURNAL OF CARDIO-THORACIC SURGERY. 2020JAN;57(1):114-121	Article
106	Yoshida S, Koshima I, Imai H 他	国際リンパ浮腫治療センター	Indocyanine green lymphography findings in older patients with lower limb lymphedema	JOURNAL OF VASCULAR SURGERY-VEIN AND LYMPHATIC DISORDERS. 2020MAR;8(2):251-258	Article
107	Honmyo N, Kobayashi T, Hamaoka M 他	消化器外科	Comparison of new prognostic systems for patients with resectable hepatocellular carcinoma: Albumin-Bilirubin grade and Albumin-Indocyanine Green Evaluation grade	HEPATOLOGY RESEARCH. 2019OCT;49(10):1218-1226	Article
108	Taito S, Kawai Y, Liu K 他	診療支援部	Diarrhea and patient outcomes in the intensive care unit: Systematic review and meta-analysis	JOURNAL OF CRITICAL CARE. 2019OCT;53():142-148	Review
109	Kodama K, Kawaoka T, Namba M 他	消化器・代謝内科	Correlation between Early Tumor Marker Response and Imaging Response in Patients with Advanced Hepatocellular Carcinoma Treated with Lenvatinib	ONCOLOGY. 2019;97(2):75-81	Article
110	Yamaga S, Yanase Y, Ishii K 他	高度救命救急センター	Decreased intracellular histamine concentration and basophil activation in anaphylaxis	ALLERGOLOGY INTERNATIONAL. 2020JAN;69(1):78-83	Article

計10件

111	Nakanishi Y, Masuda T, Yamaguchi K他	呼吸器内科	Pre-existing interstitial lung abnormalities are risk factors for immune checkpoint inhibitor-induced interstitial lung disease in non-small cell lung cancer	RESPIRATORY INVESTIGATION. 2019SEP; 57(5):451-459	Article
112	Takemoto Y, Mukai S, Mochizuki T他	消化器外科	Perioperative management of a bleeding jejunal tumor in a patient with erythropoietic protoporphyria: A case report and literature review	INTERNATIONAL JOURNAL OF SURGERY CASE REPORTS. 2019;60():191-195	Review
113	Nitta K, Kurisu S, Erasta R他	循環器内科	Associations of left ventricular shape with left ventricular volumes and functions assessed by ECG-gated SPECT in patients without significant perfusion abnormality	HEART AND VESSELS. 2020JAN;35(1):86-91	Article
114	Sasada S, Shiroma N, Goda N他	乳腺外科	The relationship between ring-type dedicated breast PET and immune microenvironment in early breast cancer	BREAST CANCER RESEARCH AND TREATMENT. 2019OCT;177(3):651-657	Article
115	Maruhashi T, Kihara Y, Higashi Y.他	循環器内科	Bilirubin and Endothelial Function	JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS. 2019;26(8):688-696	Review
116	Yamaguchi K, Iwamoto H, Sakamoto S他	呼吸器内科	Serum high-mobility group box 1 is associated with the onset and severity of acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis	RESPIROLOGY. 2020MAR;25(3):275-280	Article
117	Katagiri M, Iida K, Ishihara K他	脳神経外科	Anti-seizure effect and neuronal activity change in the genetic-epileptic model rat with acute and chronic vagus nerve stimulation	EPILEPSY RESEARCH. 2019SEP;155():-	Article
118	Kamigaichi A, Tsutani Y, Fujiwara M他	呼吸器外科	Postoperative Recurrence and Survival After Segmentectomy for Clinical Stage 0 or IA Lung Cancer	CLINICAL LUNG CANCER. 2019SEP;20(5):397+	Article
119	Yoshida S, Koshima I, Imai H他	国際リンパ浮腫治療センター	Lymphaticovenular anastomosis and venous arterialization in coexisting Raynaud's phenomenon and lymphedema: A case report	MICROSURGERY. 2019SEP; 39(6):553-558	Article
120	Maruhashi T, Amioka M, Kishimoto S他	循環器内科	Elevated Plasma Renin Activity Caused by Accelerated-malignant Hypertension in a Patient with Aldosterone-producing Adenoma Complicated with Renal Insufficiency	INTERNAL MEDICINE. 2019; 58(21):3107-3111	Article

計10件

121	Yamada T, Masuda T, Yamaguchi K他	呼吸器内科	Non-small Cell Lung Cancer Treated by an Anti-programmed Cell Death-1 Antibody without a Flare-up of Preexisting Granulomatosis with Polyangiitis	INTERNAL MEDICINE. 2019; 58(21):3129-3132	Article
122	Kajikawa M, Maruhashi T, Hidaka T他	未来医療センター	Effect of Saxagliptin on Endothelial Function in Patients with Type 2 Diabetes: A Prospective Multicenter Study	SCIENTIFIC REPORTS. 2019JUL 15;9():-	Article
123	Ito M, Miyata Y, Hirano S他	呼吸器外科	Synchronicity of genetic variants between primary sites and metastatic lymph nodes, and prognostic impact in nodal metastatic lung adenocarcinoma	JOURNAL OF CANCER RESEARCH AND CLINICAL ONCOLOGY. 2019SEP;145(9):2325-2333	Article; Proceedings Paper
124	Suzuki K, Kusunoki S, Sadamori T他	高度救命救急センター	Comparison of video and conventional laryngoscopes for simulated difficult emergency tracheal intubations in the presence of liquids in the airway	PLOS ONE. 2019JUL 19;14(7):-	Article
125	Ikuta Y, Nagata Y, Iwasaki Y.他	整形外科	Preoperative radiographic features of trochanteric fractures irreducible by closed reduction	INJURY-INTERNATIONAL JOURNAL OF THE CARE OF THE INJURED. 2019NOV;50(11):2014-2021	Article
126	Tsutani Y, Suzuki K, Koike T他	呼吸器外科	High-Risk Factors for Recurrence of Stage I Lung Adenocarcinoma: Follow-up Data From JCOG0201	ANNALS OF THORACIC SURGERY. 2019NOV;108(5):1484-1490	Article; Proceedings Paper
127	Sasada S, Masumoto N, Kimura Y他	乳腺外科	Identification of Axillary Lymph Node Metastasis in Patients With Breast Cancer Using Dual-Phase FDG PET/CT	AMERICAN JOURNAL OF ROENTGENOLOGY. 2019NOV;213(5):1129-1135	Article
128	Kajikawa M, Higashi Y., 他	未来医療センター	Triglycerides and endothelial function: molecular biology to clinical perspective	CURRENT OPINION IN LIPIDOLOGY. 2019OCT;30(5):364-369	Review
129	Yuki O, Furutani C, Mizota Y他	障害者歯科	Effect of bovine milk fermented with Lactobacillus rhamnosus L8020 on periodontal disease in individuals with intellectual disability: a randomized clinical trial	JOURNAL OF APPLIED ORAL SCIENCE. 2019;27():-	Article
130	Ohsawa M, Hamai Y, Ibuki Y他	消化器外科	Long-term Esophageal Cancer Survivor Treated by Bypass for Esophagobronchial Fistula After Chemoradiotherapy: A Case Report	ANTICANCER RESEARCH. 2019AUG;39(8):4399-4403	Article

計10件

131	Yoshida S, Matsumoto M, Kashima S他	総合内科・総合診療科	Emigration of regional quota graduates of Japanese medical schools to non-designated prefectures: a prospective nationwide cohort study	BMJ OPEN. 2019AUG;9(7):-	Article
132	Honda Y, Nakamura Y, Teishima J他	放射線診断科	Clinical staging of upper urinary tract urothelial carcinoma for T staging: Review and pictorial essay	INTERNATIONAL JOURNAL OF UROLOGY. 2019NOV;26(11):1024-1032	Review
133	Kitano H, Teishima J, Shigemura K他	感染症科	Current status of countermeasures for infectious diseases and resistant microbes in the field of urology	INTERNATIONAL JOURNAL OF UROLOGY. 2019DEC;26(12):1090-1098	Review
134	Yukawa K, Mokuda S, Yoshida Y他	リウマチ・膠原病科	Large-vessel vasculitis associated with PEGylated granulocyte-colony stimulating factor	NETHERLANDS JOURNAL OF MEDICINE. 2019JUL;77(6):224-226	Article
135	Tsuboi A, Oka S, Aoyama K他	消化器・代謝内科	Artificial intelligence using a convolutional neural network for automatic detection of small-bowel angioectasia in capsule endoscopy images	DIGESTIVE ENDOSCOPY. 2020MAR;32(3):382-390	Article
136	Yano T, Ohira M, Sakamoto R他	未来医療センター	Alcohol Use Disorders Identification Test-consumption Predicts the Risk of Excessive Alcohol Consumption After Liver Transplantation	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS. 2019JUL-AUG;51(6):1934-1938	Article
137	Kawase T, Tanaka H, Kojima H他	血液内科	Impact of High-Frequency HLA Haplotypes on Clinical Cytomegalovirus Reactivation in Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation	BIOLOGY OF BLOOD AND MARROW TRANSPLANTATION. 2019DEC;25(12):2482-2489	Article
138	Yoshioka Y, Hayashi S, Hamada A他	顎・口腔外科	Metastasis of carcinoma ex pleomorphic adenoma to the brain without previous metastasis to the lungs or bones: a case report	BRITISH JOURNAL OF ORAL & MAXILLOFACIAL SURGERY. 2019NOV;57(9):926-928	Article
139	Imano N, Wadasaki K, Nishibuchi I他	放射線治療科	Comparison of clinical outcome between computed tomography-based image-guided brachytherapy and two-dimensional-based brachytherapy for cervical cancer	GYNECOLOGIC ONCOLOGY REPORTS. 2019AUG;29():79-82	Article
140	Okada K, Murakami Y, Kondo N他	消化器外科	Prognostic Significance of Lymph Node Metastasis and Micrometastasis Along the Left Side of Superior Mesenteric Artery in Pancreatic Head Cancer	JOURNAL OF GASTROINTESTINAL SURGERY. 2019OCT;23(10):2100-2109	Article; Proceedings Paper

計10件

141	Sekino Y, Han X, Kawaguchi T他	泌尿器科	TUBB3 Reverses Resistance to Docetaxel and Cabazitaxel in Prostate Cancer	INTERNATIONAL JOURNAL OF MOLECULAR SCIENCES. 2019AUG 2;20(16):-	Article
142	Iida K, Kagawa K, Katagiri M他	脳神経外科	Preservation of Memory Despite Unresected Contralateral Hippocampal Volume Loss After Resection of Hippocampal Sclerosis in Seizure-Free Patients	WORLD NEUROSURGERY. 2019DEC;132():-	Article
143	Watanabe M, Horimasu Y, Iwamoto H他	呼吸器内科	C-C Motif Chemokine Ligand 15 May Be a Useful Biomarker for Predicting the Prognosis of Patients with Chronic Hypersensitivity Pneumonitis	RESPIRATION. 2019SEP;98(3):212-220	Article
144	Yamakita I, Mimae T, Tsutani Y 他	呼吸器外科	Guanylate binding protein 1 (GBP-1) promotes cell motility and invasiveness of lung adenocarcinoma	BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS. 2019OCT 15;518(2):266-272	Article
145	Abe T, Sumi K, Kunimatsu R他	矯正歯科	Bone Regeneration in a Canine Model of Artificial Jaw Cleft Using Bone Marrow-Derived Mesenchymal Stem Cells and Carbonate Hydroxyapatite Carrier	CLEFT PALATE-CRANIOFACIAL JOURNAL. 2020FEB;57(2):208-217	Article
146	Nakasa T, Ikuta Y, Ota Y 他	未来医療センター	Clinical Results of Bioabsorbable Pin Fixation Relative to the Bone Condition for Osteochondral Lesion of the Talus	FOOT & ANKLE INTERNATIONAL. 2019DEC;40(12):1388-1396	Article
147	Yoshida S, Koshima I, Imai H他	国際リンパ浮腫治療センター	Localized lymphedema after treatment for soft tissue sarcoma in the lower limbs: Comparison of improvement according to duration before lymphaticovenular anastomosis	CLINICAL CASE REPORTS. 2019AUG;7(8):1534-1538	Article
148	Ohya K, Kawaoka T, Namba M他	消化器・代謝内科	Early changes in ammonia levels and liver function in patients with advanced hepatocellular carcinoma treated by lenvatinib therapy	SCIENTIFIC REPORTS. 2019AUG 20;9():-	Article
149	Nakamae T, Yamada K, Tsuchida Y他	整形外科	Synovitis, Acne, Pustulosis, Hyperostosis, and Osteitis (SAPHO) Syndrome with Destructive Spondylitis: A Case Report	SPINE SURGERY AND RELATED RESEARCH. 2019;3(3):267-269	Article
150	Motoike S, Kajiya M, Komatsu N他	歯周診療科	Clumps of Mesenchymal Stem Cell/Extracellular Matrix Complexes Generated with Xeno-Free Conditions Facilitate Bone Regeneration via Direct and Indirect Osteogenesis	INTERNATIONAL JOURNAL OF MOLECULAR SCIENCES. 2019AUG 2;20(16):-	Article

計10件

151	Nakamae T, Fujimoto Y, Yamada K他	整形外科	Transforaminal percutaneous endoscopic discectomy for lumbar disc herniation in athletes under the local anesthesia	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE. 2019NOV;24(6):1015-1019	Article
152	Maetani Y, Nezu T, Ueno H他	脳神経内科	Steroid-responsive Nivolumab-induced Involuntary Movement with Anti-thyroid Antibodies	INTERNAL MEDICINE. 2019; 58(24):3577-3581	Article
153	Bekki T, Takakura Y, Kochi M他	消化器外科	Case report of hepatic pseudocyst: A rare manifestation of liver metastasis from an anal squamous cell carcinoma	INTERNATIONAL JOURNAL OF SURGERY CASE REPORTS. 2019;62():77-84	Article
154	Kawahara D, Ozawa S, Yokomachi K他	放射線治療科	Evaluation of raw-data-based and calculated electron density for contrast media with a dual-energy CT technique	REPORTS OF PRACTICAL ONCOLOGY AND RADIOTHERAPY. 2019SEP-OCT;24(5):499-506	Article
155	Kuroda S, Kihara T, Akita Y他	消化器外科	Simulation and navigation of living donor hepatectomy using a unique three-dimensional printed liver model with soft and transparent parenchyma	SURGERY TODAY. 2020MAR;50(3):307-313	Article
156	Yorita N, Oka S, Tanaka S他	消化器・代謝内科	Clinical Usefulness of Dual Red Imaging in Gastric Endoscopic Submucosal Dissection: A Pilot Study	CLINICAL ENDOSCOPY. 2020JAN;53(1):54-59	Article
157	Namba M, Hiramatsu A, Aikata H他	消化器・代謝内科	Management of refractory ascites attenuates muscle mass reduction and improves survival in patients with decompensated cirrhosis	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY. 2020FEB;55(2):217-226	Article
158	Yamasaki F, Kolakshyapati M, Takano M他	脳神経外科	Effect of bevacizumab against cystic components of brain tumors	CANCER MEDICINE. 2019NOV;8(15):6519-6527	Article
159	Mikami Y, Orita N, Yamasaki T他	リハビリテーション科	The Effect of Simultaneous Antigravity Treadmill Training and Electrical Muscle Stimulation After Total Hip Arthroplasty: Short Follow-Up Time	ANNALS OF REHABILITATION MEDICINE-ARM. 2019AUG; 43(4):474-482	Article
160	Mori A, Kikuchi M, Okada G他	精神科	Predicting Ventral Striatal Activation During Reward Anticipation From Functional Connectivity at Rest	FRONTIERS IN HUMAN NEUROSCIENCE. 2019AUG 27;13():-	Article

計10件

161	Kurisu S, Nitta K, Sumimoto Y他	循環器内科	Effects of Myocardial Perfusion Defect on the Frontal QRS-T Angle in Anterior Versus Inferior Myocardial Infarction	INTERNAL MEDICINE. 2020; 59(1):23-28	Article
162	Miura H, Ozawa S, Doi Y他	放射線治療科	Automatic gas detection in prostate cancer patients during image-guided radiation therapy using a deep convolutional neural network	PHYSICA MEDICA-EUROPEAN JOURNAL OF MEDICAL PHYSICS. 2019AUG;64():24-28	Article
163	Ikawa F, Michihata N, Akiyama Y他	脳神経外科	Treatment Risk for Elderly Patients with Unruptured Cerebral Aneurysm from a Nationwide Database in Japan	WORLD NEUROSURGERY. 2019DEC;132():E89-E98	Article
164	Ikawa F, Michihata N, Iihara K他	脳神経外科	Risk Management of Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage by Age and Treatment Method from a Nationwide Database in Japan	WORLD NEUROSURGERY. 2020FEB;134():E55-E67	Article
165	Nakanishi Y, Masuda T, Yamaguchi K他	呼吸器内科	Albumin-globulin ratio is a predictive biomarker of antitumor effect of anti-PD-1 antibody in patients with non-small cell lung cancer	INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY. 2020JAN;25(1):74-81	Article
166	Nakamae T, Nakanishi K, Kamei N他	整形外科	The correlation between sagittal spinopelvic alignment and degree of lumbar degenerative spondylolisthesis	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE. 2019NOV;24(6):969-973	Article
167	Fukuoka K, Teishima J, Nagamatsu H他	泌尿器科	Predictors of poor response to first-generation anti-androgens as criteria for alternate treatments for patients with non-metastatic castration-resistant prostate cancer	INTERNATIONAL UROLOGY AND NEPHROLOGY. 2020JAN;52(1):77-85	Article
168	Nezu T, Hosomi N, Kitagawa K他	脳神経内科	Effect of Statin on Stroke Recurrence Prevention at Different Infarction Locations: A Post Hoc Analysis of The J-STARS Study	JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS. 2020;27(6):524-533	Article
169	Takumida M, Anniko M., 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Localization of melatonin and its receptors (melatonin 1a and 1b receptors) in the mouse inner ear	ACTA OTO-LARYNGOLOGICA. 2019NOV 2;139(11):948-952	Article
170	Shimizu S, Ohira M, Nakano R他	消化器外科	Management of Refractory Ascites for Liver Transplant Candidates: A Novel Cell-free and Concentrated Ascites Reinfusion Therapy	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS. 2019OCT;51(8):2740-2744	Article; Proceedings Paper

計10件

171	Utsunomiya H, Harada Y, Susawa H他	循環器内科	Comprehensive Evaluation of Tricuspid Regurgitation Location and Severity Using Vena Contracta Analysis: A Color Doppler Three-Dimensional Transesophageal Echocardiographic Study	JOURNAL OF THE AMERICAN SOCIETY OF ECHOCARDIOGRAPHY. 2019DEC;32(12):1526-+	Article
172	Shimoda H, Doi S, Nakashima A他	腎臓内科	Inhibition of the H3K4 methyltransferase MLL1/WD5 complex attenuates renal senescence in ischemia reperfusion mice by reduction of p16(INK4a)	KIDNEY INTERNATIONAL. 2019NOV;96(5):1162-1175	Article
173	Nakao S, Yamaguchi K, Sakamoto S他	呼吸器内科	Chemotherapy-associated Acute Exacerbation of Interstitial Lung Disease Shortens Survival Especially in Small Cell Lung Cancer	ANTICANCER RESEARCH. 2019OCT;39(10):5725-5731	Article
174	Kurimura Y, Haga N, Yanagida T他	泌尿器科	The preoperative pad test as a predictor of urinary incontinence and quality of life after robot-assisted radical prostatectomy: a prospective, observational, clinical study	INTERNATIONAL UROLOGY AND NEPHROLOGY. 2020JAN;52(1):67-76	Article
175	Ohigashi T, Kanno K, Sugiyama A他	総合内科・総合診療科	Protective effect of phosphatidylcholine on lysophosphatidylcholine-induced cellular senescence in cholangiocyte	JOURNAL OF HEPATO-BILIARY-PANCREATIC SCIENCES. 2019DEC;26(12):568-577	Article
176	Iwaguro S, Shimoe S, Hirata I他	診療支援部	Effect of microslit retention on the bond strength of zirconia to dental materials	DENTAL MATERIALS JOURNAL. 2019DEC;38(6):1043-1052	Article
177	Memida T, Matsuda S, Kajiya M他	歯周診療科	Multiple External Root Resorption of Teeth as a New Manifestation of Systemic Sclerosis-A Cross-Sectional Study in Japan	JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE. 2019OCT;8(10):	Article
178	Tsutani Y, Kagimoto A, Handa Y他	呼吸器外科	Wedge resection versus segmentectomy in patients with stage I non-small-cell lung cancer unfit for lobectomy	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY. 2019DEC;49(12):1134-1142	Article
179	Kondo N, Uemura K, Nakagawa N他	消化器外科	Reappraisal of the validity of surgery for patients with pancreatic cancer aged 80 years or older stratified by resectability status	JOURNAL OF HEPATO-BILIARY-PANCREATIC SCIENCES. 2020FEB;27(2):64-74	Article
180	Matsushige T, Shimonaga K, Mizoue T他	脳神経外科	Lessons from Vessel Wall Imaging of Intracranial Aneurysms: New Era of Aneurysm Evaluation beyond Morphology	NEUROLOGIA MEDICO-CHIRURGICA. 2019NOV;59(11):407-414	Review

計10件

181	Neshige S, Kobayashi K, Matsuhashi M他	脳神経内科	A score to map the lateral nonprimary motor area: Multispectrum intrinsic brain activity versus cortical stimulation	EPILEPSIA. 2019NOV;60(11):2294-2305	Article
182	Fujino H, Tanaka M, Imamura M他	消化器・代謝内科	Pruritus in patients with chronic liver disease and serum autotaxin levels in patients with primary biliary cholangitis	BMC GASTROENTEROLOGY. 2019OCT 24;19(1):-	Article
183	Koh I, Nosaka S, Sekine M他	産婦人科	Regulation of REG4 Expression and Prediction of 5-Fluorouracil Sensitivity by CDX2 in Ovarian Mucinous Carcinoma	CANCER GENOMICS & PROTEOMICS. 2019NOV-DEC;16(6):481-490	Article
184	Ito M, Codony-Servat C, Codony-Servat J他	呼吸器外科	Targeting PKC iota-PAK1 signaling pathways in EGFR and KRAS mutant adenocarcinoma and lung squamous cell carcinoma	CELL COMMUNICATION AND SIGNALING. 2019OCT 28;17(1):-	Article
185	Yoshida S, Matsumoto M, Kashima S他	総合内科・総合診療科	Geographical distribution of family physicians in Japan: a nationwide cross-sectional study	BMC FAMILY PRACTICE. 2019OCT 29;20(1):-	Article
186	Morita K, Tsuka H, Kimura H他	咬合・義歯診療科	Oral function and vertical jump height among healthy older people in Japan	COMMUNITY DENTAL HEALTH. 2019DEC;36(4):276-280	Article
187	Sairaku A, Nakano Y, Onohara Y他	循環器内科	Residual anticoagulation activity in atrial fibrillation patients with temporary interrupted direct oral anticoagulants: Comparisons across 4 drugs	THROMBOSIS RESEARCH. 2019NOV;183():119-123	Article
188	Kyo M, Nishioka K, Nakaya T他	高度救命救急センター	Unique patterns of lower respiratory tract microbiota are associated with inflammation and hospital mortality in acute respiratory distress syndrome	RESPIRATORY RESEARCH. 2019NOV 6;20(1):-	Article
189	Yamasaki F, Takano M, Yonezawa U他	病院(医) 脳神経:医・脳外	Bevacizumab for optic pathway glioma with worsening visual field in absence of imaging progression: 2 case reports and literature review	CHILDS NERVOUS SYSTEM. 2020MAR;36(3):635-639	Review
190	Shoji T, Yamasaki T, Ota Y他	整形外科	Effect of transtrochanteric rotational osteotomy on impingement and contact state of a femoral implant in conversion total hip arthroplasty - Retrospective simulation study	CLINICAL BIOMECHANICS. 2020JAN;71():68-72	Article

計10件

191	Ikenaga H, Kurisu S, Kihara Y.他	循環器内科	Percutaneous Coronary Intervention for Interposed Coronary Graft Stenosis after Modified Bentall Procedure in a Teenaged Boy with Takayasu Arteritis	TEXAS HEART INSTITUTE JOURNAL. 2019JUN;46(3):207-210	Article
192	Nakajima K, Kunimatsu R, Ando K他	矯正歯科	Success rates in isolating mesenchymal stem cells from permanent and deciduous teeth	SCIENTIFIC REPORTS. 2019NOV 14;9():-	Article
193	Kishi N, Ito M, Miyata Y 他	呼吸器外科	Intense Expression of EGFR L858R Characterizes the Micropapillary Component and L858R Is Associated with the Risk of Recurrence in pN0M0 Lung Adenocarcinoma with the Micropapillary Component	ANNALS OF SURGICAL ONCOLOGY. 2020MAR;27(3):945-955	Article
194	Kamigaichi A, Hamai Y, Emi M他	消化器外科	Three-step surgical treatment of aortoesophageal fistula after thoracic endovascular aortic repair: A case report	INTERNATIONAL JOURNAL OF SURGERY CASE REPORTS. 2019;65():221-224	Article
195	Yamane H, Ide K, Tanaka A他	消化器外科	Successful Treatment of Chronic Myeloid Leukemia With Dasatinib After Kidney Transplantation: A Case Report	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS. 2020MAR;52(2):600-603	Article; Proceedings Paper
196	Hamada A, Akagi E, Yamasaki S他	顎・口腔外科	Induction of integration-free human-induced pluripotent stem cells under serum- and feeder-free conditions	IN VITRO CELLULAR & DEVELOPMENTAL BIOLOGY-ANIMAL. 2020JAN;56(1):85-95	Article
197	Hirano C, Ohshimo S, Horimasu Y他	救急集中治療科	Baseline High-Resolution CT Findings Predict Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis: German and Japanese Cohort Study	JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE. 2019DEC;8(12):	Article
198	Yamamoto M, Kobayashi T, Kuroda S他	消化器外科	Verification of inflammation-based prognostic marker as a prognostic indicator in hepatocellular carcinoma	ANNALS OF GASTROENTEROLOGICAL SURGERY. 2019NOV;3(6):667-675	Article
199	Nakamura Y, Higaki T, Tatsugami F他	放射線診断科	Possibility of Deep Learning in Medical Imaging Focusing Improvement of Computed Tomography Image Quality	JOURNAL OF COMPUTER ASSISTED TOMOGRAPHY. 2020MAR-APR;44(2):161-167	Review
200	Fukushima T, Yokooji T, Hirano T他	薬剤部	Aspirin enhances sensitization to the egg-white allergen ovalbumin in rats	PLOS ONE. 2019DEC 5;14(12):-	Article

計10件

201	Hiraki T, Kunimatsu R, Nakajima K他	矯正歯科	Stem cell-derived conditioned media from human exfoliated deciduous teeth promote bone regeneration	ORAL DISEASES. 2020MAR; 26(2):381-390	Article
202	Shiga Y, Nezu T, Hosomi N他	脳神経内科	Effect of tooth loss and nutritional status on outcomes after ischemic stroke	NUTRITION. 2020MAR;71():-	Article
203	Hata K, Ito M, Boda T他	消化器・代謝内科	The Evaluation of Esophageal Motility Using Infusion Manometry with a Trans-nasal Endoscope: A Preliminary Study	INTERNAL MEDICINE. 2020; 59(7):887-890	Article
204	Higaki T, Nakamura Y, Zhou J他	放射線診断科	Deep Learning Reconstruction at CT: Phantom Study of the Image Characteristics	ACADEMIC RADIOLOGY. 2020JAN;27(1):82-87	Article
205	Ueda T, Chikuie N, Takumida M他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Baseline neutrophil-to-lymphocyte ratio (NLR) is associated with clinical outcome in recurrent or metastatic head and neck cancer patients treated with nivolumab	ACTA OTO-LARYNGOLOGICA. 2020FEB 1;140(2):181-187	Article
206	Nakanishi J, Suzuki S, Yoshida K他	歯科保存診療科	Dentin phosphoprotein inhibits lipopolysaccharide-induced macrophage activation independent of its serine/aspartic acid-rich repeats	ARCHIVES OF ORAL BIOLOGY. 2020FEB;110():-	Article
207	Morita K, Tsuka H, Kuremoto KC他	咬合・義歯診療科	Oral Implant Treatment for a Patient Undergoing Molecularly Targeted Drug Therapy for Chronic Myelocytic Leukemia: A Case Report	INTERNATIONAL JOURNAL OF PROSTHODONTICS. 2020JAN-FEB;33(1):111-115	Article
208	Obayashi H, Nagano Y, Takahashi T他	脳神経内科	Histone deacetylase 10 knockout activates chaperone-mediated autophagy and accelerates the decomposition of its substrate	BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS. 2020FEB 26;523(1):246-252	Article
209	Sugimoto J, Schust DJ, Kinjo T他	産婦人科	Suppressyn localization and dynamic expression patterns in primary human tissues support a physiologic role in human placentation	SCIENTIFIC REPORTS. 2019DEC 20;9():-	Article
210	Itcho K, Oki K, Gomez-Sanchez CE他	内分泌・糖尿病内科	Endoplasmic Reticulum Chaperone Calnexin Is Upregulated in Aldosterone-Producing Adenoma and Associates With Aldosterone Production	HYPERTENSION. 2020FEB; 75(2):492-499	Article

計10件

211	Shimatani T, Shime N, Nakamura T他	救急集中治療科	Neurally adjusted ventilatory assist mitigates ventilator-induced diaphragm injury in rabbits	RESPIRATORY RESEARCH. 2019DEC 23;20 (1) :-	Article
212	Hirooka K, Ukegawa K, Nitta E他	眼科	Retinal Nerve Fiber Layer Thickness Progression after Robotic-Assisted Laparoscopic Radical Prostatectomy in Glaucoma Patients	JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY. 2019DEC 6;2019 () :-	Article
213	Otani Y, Kanno K, Kikuchi Y他	総合内科・総合診療科	A case of giant cell arteritis simultaneously diagnosed with chronic subdural hematoma	CLINICAL CASE REPORTS. 2019DEC;7 (12) :2534-2538	Article
214	Maruhashi T, Kajikawa M, Kishimoto S他	循環器内科	Diagnostic Criteria of Flow-Mediated Vasodilation for Normal Endothelial Function and Nitroglycerin-Induced Vasodilation for Normal Vascular Smooth Muscle Function of the Brachial Artery	JOURNAL OF THE AMERICAN HEART ASSOCIATION. 2020JAN 21;9 (2) :-	Article
215	Kaneda-Ikeda E, Iwata T, Mizuno N他	歯周診療科	Periodontal ligament cells regulate osteogenesis via miR-299-5p in mesenchymal stem cells	DIFFERENTIATION. 2020MAR-APR;112 () :47-57	Article
216	Morio K, Kawaoaka T, Aikata H他	消化器・代謝内科	Preoperative PET-CT is useful for predicting recurrent extrahepatic metastasis of hepatocellular carcinoma after resection	EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY. 2020MAR;124 () :-	Article
217	Hakoda K, Yoshimitsu M, Miguchi M他	消化器外科	Characteristic findings of appendicular endometriosis treated with single incision laparoscopic ileocelectomy: Case report	INTERNATIONAL JOURNAL OF SURGERY CASE REPORTS. 2020;67 () :9-12	Article
218	Tokunaga T, Mokuda S, Kohno H他	リウマチ・膠原病科	TGF beta 1 Regulates Human RANKL-Induced Osteoclastogenesis via Suppression of NFATc1 Expression	INTERNATIONAL JOURNAL OF MOLECULAR SCIENCES. 2020FEB;21 (3) :-	Article
219	Fukuhara S, Tahara H, Hirata Y他	消化器外科	Hepatic epithelioid hemangioendothelioma successfully treated with living donor liver transplantation: A case report and literature review	CLINICAL CASE REPORTS. 2020JAN;8 (1) :108-115	Review
220	Ohsawa M, Hamai Y, Emi M他	消化器外科	Tumor Response in Esophageal Squamous Cell Carcinoma Treated With Neoadjuvant Chemotherapy Followed by Surgery	ANTICANCER RESEARCH. 2020FEB;40 (2) :1153-1160	Article

計10件

221	Nakamoto T, Hatsuta S, Yagi S他	齒科放射線科	Computer-aided diagnosis system for osteoporosis based on quantitative evaluation of mandibular lower border porosity using panoramic radiographs	DENTOMAXILLOFACIAL RADIOLOGY. 2020;49(4):-	Article
222	Ito M, Miyata Y, Tsutani Y他	呼吸器外科	Positive EGFR mutation status is a risk of recurrence in pN0-1 lung adenocarcinoma when combined with pathological stage and histological subtype: A retrospective multi-center analysis	LUNG CANCER. 2020MAR; 141() :107-113	Article
223	Miura Y, Harada Y, Kiuchi Y.他	眼科	Comparison of Different IOL Types in the Flanged IOL Fixation Technique	JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY. 2020JAN 21;2020() :-	Article
224	Takeuchi Y, Murakami Y, Kameoka T他	放射線治療科	Analysis of cardiac toxicity after definitive chemoradiotherapy for esophageal cancer using a biological dose-volume histogram	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH. 2020MAR;61(2) :298-306	Article
225	Ohsawa M, Hamai Y, Emi M他	消化器外科	Thoracoscopic double-flap reconstruction for esophagogastric junction cancer: A case report	INTERNATIONAL JOURNAL OF SURGERY CASE REPORTS. 2020;67() :102-105	Article
226	Kikutani K, Itai J, Ota K他	救急集中治療科	A Ruptured Mediastinal Bronchial Artery Aneurysm Treated with Urgent Thoracic Endovascular Aortic Repair	INTERNAL MEDICINE. 2020; 59(10) :1283-1286	Article
227	Nakamura K, Urabe Y, Kagemoto K他	消化器・代謝内科	Genomic Characterization of Non-Invasive Differentiated-Type Gastric Cancer in the Japanese Population	CANCERS. 2020FEB;12(2) :-	Article
228	Takasu M, Kondo S, Akiyama Y他	放射線診断科	Assessment of early treatment response on MRI in multiple myeloma: Comparative study of whole-body diffusion-weighted and lumbar spinal MRI	PLOS ONE. 2020FEB 27;15(2) :-	Article
229	Kuroki K, Sanomura Y, Oka S他	内視鏡診療科	Clinical outcomes of endoscopic resection for superficial non-ampullary duodenal tumors	ENDOSCOPY INTERNATIONAL OPEN. 2020MAR;8(3) :E354-E359	Article
230	Okamoto Y, Oka S, Tanaka S他	消化器・代謝内科	Clinical usefulness of the S-O clip during colorectal endoscopic submucosal dissection in difficult-to-access submucosal layer	ENDOSCOPY INTERNATIONAL OPEN. 2020MAR;8(3) :E437-E444	Article

計10件

231	Higaki M, Shintani T, Hamada A他	顎・口腔外科	Eldecacitol (ED-71)-induced exosomal miR-6887-5p suppresses squamous cell carcinoma cell growth by targeting heparin-binding protein 17/fibroblast growth factor-binding protein-1 (HBp17/FGFBP-1)	IN VITRO CELLULAR & DEVELOPMENTAL BIOLOGY-ANIMAL. 2020MAR;56(3):222-233	Article
232	Ishiuchi N, Nakashima A, Doi S他	腎臓内科	Hypoxia-preconditioned mesenchymal stem cells prevent renal fibrosis and inflammation in ischemia-reperfusion rats	STEM CELL RESEARCH & THERAPY. 2020MAR 20;11(1):-	Article
233	Sakata S, Kunimatsu R, Tsuka Y他	矯正歯科	High-Frequency Near-Infrared Diode Laser Irradiation Attenuates IL-1 beta-Induced Expression of Inflammatory Cytokines and Matrix Metalloproteinases in Human Primary Chondrocytes	JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE. 2020MAR;9(3):-	Article
234	Matsumura M, Shigeishi H, Su CY他	口腔健康科	High Rate of Oral Candida Detection in Dependent Japanese Older People	GERIATRICS. 2020MAR;5(1):-	Article
235	Yashima Y, Kaku M, Yamamoto T他	矯正歯科	Effect of continuous compressive force on the expression of RANKL, OPG, and VEGF in osteocytes	BIOMEDICAL RESEARCH-TOKYO. 2020;41(2):91-99	Article
236	Bekki T, Takakura Y, Kochi M他	消化器外科	A Case of Isolated Adrenocorticotrophic Hormone Deficiency Caused by Pembrolizumab	CASE REPORTS IN ONCOLOGY. 2020JAN-APR;13(1):200-206	Article
237	Kaneyasu Y, Koh I, Fujiwara H他	放射線治療科	Concurrent chemoradiotherapy for locally advanced squamous cell carcinoma of the cervix in a uterus didelphys with vaginal septum	JOURNAL OF CONTEMPORARY BRACHYTHERAPY. 2019;11(2):180-188	Article
238	Tsuboi A, Oka S, Tanaka S他	消化器・代謝内科	Experience with Balloon Dilatation in Crohn's and Non-Crohn's Benign Small-Bowel Strictures: Is There a Difference?	GASTROENTEROLOGY RESEARCH AND PRACTICE. 2019;():-	Article
239	#N/A	精神科	Development of a Japanese Version of the Mini-Cambridge Exeter Repetitive Thought Scale	SAGE OPEN. 2019JUN;9(2):-	Article
240	Hamai Y, Yoshiya T, Hihara J他	消化器外科	Traditional Japanese herbal medicine rikkunshito increases food intake and plasma acylated ghrelin levels in patients with esophageal cancer treated by cisplatin-based chemotherapy	JOURNAL OF THORACIC DISEASE. 2019JUN;11(6):2470-2478	Article

計10件

241	Tanaka H, Oka S, Tanaka S他	消化器・代謝内科	Can surveillance colonoscopy be discontinued in an elderly population with diminutive polyps?	JOURNAL OF THE ANUS RECTUM AND COLON. 2019JUL;3 (3) :128-135	Article
242	Shigeishi H, Yokoyama S, Murodumi H他	口腔健康科	Effect of hydrogel stiffness on morphology and gene expression pattern of CD44(high) oral squamous cell carcinoma cells	INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL AND EXPERIMENTAL PATHOLOGY. 2019;12 (8) : 2826-2836	Article
243	Tanaka S, Gottumukkala S. Raju他	内視鏡診療科	Part II: Optimizing endoscopy unit design: Lessons from a modern endoscopy suite in Japan	TECHNIQUES IN GASTROINTESTINAL ENDOSCOPY. 2019JUL;21 (3) :140-142	Review
244	Yamane Y, Katayama K, Takahashi S他	心臓血管外科	Aorto-Esophageal Fistula Caused by Distal Stent Graft-Induced New Entry after Frozen Elephant Trunk Technique for Chronic Aortic Dissection	ANNALS OF VASCULAR DISEASES. 2019;12 (3) :398-400	Article
245	Kimura Y, Sasada S, Goda N他	乳腺外科	Therapeutic value of postmastectomy radiation therapy for T1-2 breast cancer with 1-3 positive lymph nodes	JOURNAL OF RADIATION ONCOLOGY. 2019SEP;8 (3) : 323-328	Article
246	Kambara K, Ogata A, Kira Y他	精神科	Effects of Rumination Processing Modes on the Tendency to Avoid Failure	CURRENT PSYCHOLOGY. 2019OCT;38 (5) :1204-1214	Article
247	Kida Y, Ohshimo S, Kyo M他	救急集中治療科	Retrospective immunohistological study of autopsied lungs in patients with acute exacerbation of interstitial pneumonia managed with extracorporeal membrane oxygenation	JOURNAL OF THORACIC DISEASE. 2019NOV;11 (11) : 4436-4443	Article
248	Hide M, Suzuki T, Tanaka A他	皮膚科	Efficacy of increased dose of rupatadine up to 20 mg on itching in Japanese patients due to chronic spontaneous urticaria, dermatitis, or pruritus: A post hoc analysis of phase III clinical trial	JOURNAL OF CUTANEOUS IMMUNOLOGY AND ALLERGY. 2019OCT;2 (5) : 128-134	Article
249	Kawahara D, Ozawa S, Nakano H他	放射線治療科	Biological dose-enhancement analysis with Monte Carlo simulation for Lipiodol for photon beams	REPORTS OF PRACTICAL ONCOLOGY AND RADIOTHERAPY. 2019NOV-DEC;24 (6) :681-687	Article
250	Koshima I, Yoshida S, Nagamatsu S他	国際リンパ浮腫治療センター	EFFECT OF PREGNANCY ON LOWER LIMB LYMPHEDEMA IN PATIENTS TREATED WITH MULTISITE LYMPHATICOVENULAR ANASTOMOSES (MLVAS)	LYMPHOLOGY. 2019DEC;52 (4) :187-193	Article

計10件

251	S Inoue, T Hayashi, J Teishima他	泌尿器科	Prevalence of hand joint symptoms in androgen deprivation therapy among japanese patients with prostate cancer	UROLOGICAL SCIENCE. 2020JAN-FEB;31(1):15-20	Article
252	S Inoue, T Hayashi, J Teishima他	泌尿器科	Comparative analysis of robot-assisted, laparoscopic, and open radical prostatectomy regarding lower urinary tract symptoms: A longitudinal study	UROLOGICAL SCIENCE. 2020JAN-FEB;31(1):21-27	Article
253	Masuda T, Fujitaka K, Ishikawa N他	呼吸器内科	Treatment rationale and design of the PROLONG study: safety and efficacy of pembrolizumab as first-line therapy for elderly patients with non-small cell lung cancer	JOURNAL OF THORACIC DISEASE. 2020MAR;12(3):1079-1084	Article
					計3件 計253件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet alとする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを入力すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 委員会の設置, 委員会の業務, 委員の責務, 審査, 判定の区分, 手数料等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 本学の職員等が臨床研究に係る産学官連携活動等を行う場合における利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めている。具体的には、ポリシーおよび臨床研究利益相反管理委員会の設置, アドバイザーの配置, 臨床研究を実施しようとする職員等による自己申告, 同委員会による調査, 審査及びその他必要な手続きなどを定めている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年22回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年11回
・ 研修の主な内容 「よく理解しておかないといけない臨床研究法-継続時の手続き等の留意点-」「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について」「臨床研究はじめての一步ここが重要-院内管理体制を含む臨床研究法と倫理指針の相違点-」「臨床研究法と上手につきあうための運用と課題」「医療倫理の諸原則と臨床倫理の方法論」「コホート研究、ケースコントロール研究、横断研究」等	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

広島大学病院を基幹施設として、広島県全体の医療圏・近隣医療圏にある連携施設とで専門研修を行います。これにより広島県及び近隣の医療圏の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、専門医としての基本的臨床能力の獲得、さらに高度なSubspecialty専門医取得に向け、各領域別に研修を行って専門医の育成を行います。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 116.83 人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
伊藤 公訓	総合内科・総合診療科	教授	32 年	内科
服部 登	呼吸器内科	教授	33 年	アレルギー疾患内科 またはアレルギー科
茶山 一彰	消化器・代謝内科	教授	39 年	消化器内科 代謝内科
中野 由紀子	循環器内科	教授	29 年	
正木 崇生	腎臓内科	教授	28 年	
丸山 博文	脳神経内科	教授	30 年	神経内科
一戸 辰夫	血液内科	教授	31 年	
米田 真康	内分泌・糖尿病内科	寄附講座教授	21 年	内分泌内科
大毛 宏喜	感染症内科	教授	29 年	
杉山 英二	リウマチ科	教授	40 年	
杉山 一彦	腫瘍内科	教授	36 年	
岡田 守人	呼吸器外科	教授	32 年	
大段 秀樹	消化器外科・移植外科	教授	32 年	
角舎 学行	乳腺外科	講師	28 年	内分泌外科
高橋 信也	心臓血管外科	教授	22 年	
檜山 英三	小児外科	教授	38 年	
岡本 泰昌	精神科	教授	31 年	
岡田 賢	小児科	教授	21 年	
安達 伸生	整形外科	教授	32 年	
飯田 幸治	脳神経外科	准教授	30 年	
秀 道広	皮膚科	教授	36 年	
亭島 淳	泌尿器科	准教授	26 年	
工藤 美樹	産婦人科	教授	36 年	
木内 良明	眼科	教授	37 年	
竹野 幸夫	耳鼻咽喉科	教授	33 年	
栗井 和夫	放射線診断科	教授	34 年	
永田 靖	放射線治療科	教授	38 年	
堤 保夫	麻酔科	教授	23 年	
志馬 伸朗	救急科	教授	32 年	

有廣 光司	病理診断科	教授	33 年	
横田 和典	形成外科	教授	30 年	
木村 浩彰	リハビリテーション科	教授	32 年	
香西 克之	小児歯科	教授	31 年	
谷本 幸太郎	矯正歯科	教授	31 年	
虎谷 茂昭	顎・口腔外科	准教授	31 年	口腔外科
武知 正晃	口腔顎顔面再建外科	准教授	31 年	口腔外科
太田 耕司	口腔健康科	教授	25 年	歯科
柴 秀樹	歯科保存診療科 歯周診療科	教授	31 年	歯科
津賀 一弘	口腔インプラント診療科 咬合・義歯診療科	教授	35 年	歯科
柿本 直也	歯科放射線科	教授	24 年	歯科
入船 正浩	歯科麻酔科	教授	35 年	歯科
岡田 芳幸	障害者歯科	教授	21 年	歯科
河口 浩之	口腔総合診療科	教授	34 年	歯科

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 木内 良明
管理担当者氏名	病院総務グループリーダー 佐々木 浩 病院医事グループリーダー 新本 陽一郎

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務グループ 病歴管理センター
		各科診療日誌	
		処方せん	
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務グループ
		高度の医療の提供の実績	医事グループ
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事グループ
		高度の医療の研修の実績	総務グループ
		閲覧実績	総務グループ
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事グループ
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事グループ、薬剤部
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	各診療科
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務グループ	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務グループ	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理室	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理室	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理室	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務グループ
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務グループ
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務グループ
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務グループ
		医療安全管理部門の設置状況	総務グループ
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術審査部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	未承認新規医薬品等審査部
		監査委員会の設置状況	総務グループ
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者支援センター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	財務・総務室総務グループ
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務グループ
		管理者が有する権限に関する状況	総務グループ
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務グループ
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	財務・総務室総務グループ

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧・責任者氏名	病院運営支援部長 新本 陽一郎	
閲覧担当者氏名	病院総務グループリーダー 佐々木 浩	
閲覧の求めに応じる場所	総務グループ事務室	
閲覧の手続の概要		
閲覧希望者の求めに応じて、総務グループ室内で行っている。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 【医療安全管理のための指針】 1. 医療安全管理に関する基本的な考え方 2. 用語の説明 1) 医療上の事故等（インシデント） 2) ヒヤリ・ハット（ゼロレベルインシデント） 3) 医療過誤（法律用語） 4) 合併症 3. 医療安全管理に関する推進方法 1) 医療安全管理体制の構築 2) 医療事故・インシデントなどの報告制度の確立 3) 職員に対する医療安全教育・研修の実施 4) 事故発生時の対応方法の確立 5) 医療事故の公表と報告 4. 医療安全管理に関する指針の閲覧について 5. 患者相談窓口について	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（ 有・無 ） ・ 開催状況：年72回 ・ 活動の主な内容： 【医科・歯科共通】 1) 「医療安全管理委員会」は、月1回開催し、本院の医療安全管理の統括的な事項について審議する委員会で、「患者影響レベル判定小委員会（医科領域）」及び「医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）」を統括し、医療の安全管理、医療事故の防止、医療訴訟に関する事項を審議する。 また、「医療安全管理委員会」は、「患者影響レベル判定小委員会（医科領域）」、「医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）」及び「医療安全管理部会議」から改善策等の審議内容の報告を受けて審議決定し改善策やマニュアルについて医療安全管理部に周知徹底するようフィードバックする。 （年12回） 2) 「医療安全管理部会議」は、隔週で開催し、医療事故防止及び安全性の確保に必要な企画・立案及び評価を行うとともに、医療現場において機能的に対処・指導を行い、病院内の医療安全に関する対策と意識向上を図る。（年25回） 【医科領域】 1) 「患者影響レベル判定小委員会（医科領域）」は、インシデントレポートの患者影響レベルの判定と医療事故の定義に照らして、患者影響レベル3a以上の過誤が疑われる、又は、患者影響レベル3b以上の事象について、患者影響度・原因・医療過誤の有無を判定し、病院長に報告する。（年23回） 【歯科領域】 1) 「医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）」は、月1回開催し、歯科領域のインシデントレポートに基づき、患者影響レベルの判定及び医療事故の防止策等を審議する。医療過誤がある事例については病院長へ報告する。（年12回）	

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
・ 研修の内容（すべて）：別紙①のとおり	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（☒有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 【医科・歯科共通】 1) インシデント報告制度の目的や趣旨が十分に伝わるように研修会やリスクマネジャー会議を通じて伝達している。 2) 病院全体に係る重要事象の分析・改善策は医療安全管理部で検討し、医療安全管理委員会で審議のうえ、病院運営会議で報告し、改善策の周知徹底を図る。 3) 院内安全巡視等を行うことで、改善状況を評価する。 4) 発生した重大なインシデントについては、現場のリスクマネジャーを中心にチームで分析・改善策を検討し、医療安全管理部に報告する。医療安全管理部は、必要に応じて事実確認及び詳細な情報収集を行い、要因を特定し、対策を立案し、医療安全管理委員会へ報告するとともに、リスクマネジャー会議へフィードバックする。 5) 月々のインシデントレポートのマクロ的な集計結果及び重要事象の分析結果をリスクマネジャー会議で報告し、情報の共有化を図る。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 (1) 感染症対策委員会 (2) 感染制御チーム（ICT）、感染対策リンクナース及び感染対策実践者 3. 院内感染対策のための従業員に対する研修に関する基本方針 4. 感染症発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (1) 通常時の対応 (2) 緊急時（重大な院内感染等の発生）の対応 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年50回
・ 活動の主な内容： 【医科・歯科共通】 1) 「感染症対策委員会」は、月1回開催し、院内の感染防止のための調査、研究、対策に関する事項の統括審議を行い、また、小委員会の審議結果の調整及びその他感染症に関する事項の審議を行う。（年12回） 2) 「感染制御チーム会議」は月1回開催し、院内感染情報等の収集、調査、分析を行い、院内感染防止のための対策及び啓発の企画・立案並びに情報提供に関する審議を行う。（年12回）（臨時2回） 【医科領域】 1) 「感染症対策小委員会（医科領域）」は、月1回開催し、医科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し（穿刺）感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。（年12回） 【歯科領域】 1) 「感染症対策小委員会（歯科領域）」は、月1回開催し、歯科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し（穿刺）感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。（年12回）	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年5回
・ 研修の内容（すべて）：別紙②のとおり	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 感染対策の実務を行うICT活動を実施し、情報の収集と対策について、現場へフィードバックをする。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 10 回
研修の主な内容： ・「医療安全管理職員研修会 抗がん剤の安全な取り扱いについて」全職員対象に、医療安全管理研修会の一部として実施 ・「安全なミキシングについて」 全職員対象に、薬剤部の製剤室にて見学実習・研修会 ・「医薬品の医療安全（薬剤の基礎知識）」新規（新人・中途）採用看護師 ・麻薬の取り扱いに関する研修会 全職員対象 ・不眠症診療セミナー 全職員対象	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 随時、必要時に、各業務の部門責任者及び業務担当責任者が手順書の業務内容に該当する項目が守られているか確認して見直しを図っている。 また、薬品管理に関しては、担当者が看護師と協力してマニュアルに基づいて管理を行うとともに、医薬品安全管理責任者（必要に応じて担当者）が必要時実施状況の確認が必要と思われる部門に出向いて確認を行っている。 また、業務の実施状況の確認については、医療安全管理部と連携して院内ラウンドを実施している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 未承認：狂犬病の予防に使用する輸入ワクチン(Verorab) 適応外：胸腺上皮性腫瘍に対する化学療法（ADOC療法） （シスプラチン、ドキソルビシン、シクロホスファミド、ビンクリスチン） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ①未承認新規医薬品等審査部の組織図や内規などを院内webに掲載し、未承認や適応外使用の申請の必要性や理解の定着を図っている。 ②各診療科へそれぞれ年1回、使用調査および使用報告依頼を実施している。これにより、当該年度の新規未承認および適応外の使用薬の把握が可能となり、昨年度の使用件数、有効性および安全性の把握に努めている。 ③薬剤師向けに未承認新規医薬品等審査部の業務について広報を実施。普段の業務中に未承認等に該当する医薬品を発見した場合は、医師への疑義照会に加え、エクセルシートに疾患名や薬品名をリストアップしている。これにより、医師が申請していない場合でも、審査部が把握することができている。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①	医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
②	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年22回
	・ 研修の主な内容： 以下の、機器（特定機器5種を含む）について年度を通して勉強会ならびに研修会を行った。 1. 輸液ポンプ・スマートポンプの取り扱いについて（看護師研修会） 2. 超音波診断装置のメンテナンスについての説明会（日立製作所ヘルスケア部門） 3. 人工呼吸の取り扱いについて（RST研修会） 4. NHFの使用方法に関する説明会 5. impella の概要と使用方法に関する説明会 6. IABPの各種アラームと機器保守についての勉強会（部門内研修）	
③	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
	・ 医療機器に係る計画の策定（有・無） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 機器管理システム使用して、各機器の取り扱い説明書に準じた期間を設定し点検期限が超過しないように管理している。 特定管理機器5種における点検計画実施について 1. 人工心肺及び補助循環装置（1回/年 メーカーによる定期点検実施） 2. 人工呼吸器（1回/年 メーカーによる定期点検実施） 3. 血液浄化装置（1回/年 一部機器は1回/2年 メーカーによる定期点検実施） 4. 除細動装置（1回/年 点検装置を使用して部内で定期点検実施） 5. 閉鎖式保育器（4回/年 3/4回 部内で定期点検実施 1/4回メーカーによる定期点検実施）	
④	医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
	・ 医療機器に係る情報の収集の整備（有・無） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：なし ・ その他の改善のための方策の主な内容： 毎朝及び月1回の会議でME機器管理室担当者への情報共有を行っている。 医療安全管理部と連携しインシデント及びアクシデント報告から研修会の内容等を変更した。 PMDAのメーリングサービスに登録し、知り得た情報を必要な部署へ報告する。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有 ・ 無
・ 責任者の資格（医師・歯科医師） ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理担当の副病院長を医療安全管理責任者として配置し、統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有（2名） ・ 無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 ・ 採用医薬品について、添付文書、インタビューフォーム、使用上の注意の解説、製品情報概要等を入手し、専用キャビネット及び電子ファイルとして薬剤部サーバで保管している。 ・ 添付文書の改訂情報を把握し、改訂時には新添付文書及び改訂内容を解説した使用上の注意の改訂のお知らせを当該医薬品の製造・販売企業より入手する。 ・ 緊急安全性情報・安全性速報の発出時、およびこれらに準じる緊急性の高い情報を取得した際には、医薬品安全管理責任者へ報告し、関係者と緊急度および重要度に応じて対応を協議している。 ・ 使用患者を特定して対応する必要がある場合には、診療DWHを使用して情報収集を行い、関係部署へ直接連絡を行って、対応を協議する。必要に応じて診療DWHから抽出した情報に基づいて、当該患者の担当診療科・担当医師に対して患者一覧を添えた通知や、個別の患者への通知を行う。 ・ 効能効果・用法用量の追加・変更情報、処方日数制限の変更、採用医薬品の取り扱いの変更や供給に関する情報などについて、内容に応じ適宜書面、院内情報ウェブ掲示板を用いて通知を行う。 ・ その他、添付文書情報の改訂、各機関から発出された安全性情報などは原則月1回、まとめて各部長、病棟看護師長、薬剤部各部署に通知し、病院情報システムグループを通じて院内掲示板にも掲示する。 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 <未承認薬について> ・ 当院は、オーダーリングシステムによってオーダー入力された処方について調剤を行っている。未承認薬は、オーダーリングシステムに登録されていないことから誤って調剤することはない。 <適応外使用および禁忌に該当する医薬品の使用について> ・ 入院患者については、全病棟に薬剤師を配置しており、病棟担当薬剤師が全患者の処方についてチェックを行い、医師へ情報提供や処方変更の提案・相談などを行っている。その結果は、病棟薬剤業務・薬剤管理指導記録へ記録しており、その記録は電子カルテに保管され、医師や看護師を始めとして全職種が確認可能となっている。該当する医薬品の使用を認めた場合は、薬剤部へ報告する。 ・ 外来患者については、随時医師の相談に応じて対応している。 ・ 処方オーダー時に、併用禁忌に関してはアラートが出るシステムとなっている。 ・ 薬剤師からの情報提供や医師や看護師からの質問や相談、処方変更などの内容は、院内インシデントシステムにてプレアボイド報告として記録されている。これらの情報は、毎月全職種が出席するリスクマネージャー会議にて報告され、院内全体に情報共有され、注意喚起が行われている。 * なお、2017年4月、未承認新規医薬品等審査部（以下、審査部）および未承認新規医薬品等評価委員会（委員会）を設置した。具体的については、規則第9条の23第1項第8号の「⑧未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況」を参照。	
担当者の指名の有無（☒ 有 ・ 無） ・ 担当者の所属・職種： （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師） （所属： ， 職種 ）	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (☒ 有・無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：量的監査時、記載されている内容等を実施手順に則って行っているか確認している。記載内容等が適切でない場合は、関係診療科へ結果を報告し充実したカルテ記載を行うことを指導の主な内容としている。また、外来医長、病棟医長に紙媒体でチェックシートを配付し、各診療科として規程に定められた事項を遵守できているか評価後、病歴管理センターで結果を集計している。	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：毎月全退院患者の診療録について、量的監査および記載内容の確認を行い、さらに年数回入院・外来診療録の記載について、医師・歯科医師による質的監査を行っている。それらの結果は、各診療科へフィードバックするとともに全診療科で構成している委員会にも報告しており、診療録記載の充実について啓発を行っている。また、主な指導内容は、カルテ記載が乏しい項目について指摘し、情報開示に耐えうる内容にするよう促している。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ 有・無
・所属職員：専従（４）名、専任（２）名、兼任（ ）名 うち医師：専従（１）名、専任（２）名、兼任（ ）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 （注）報告書を提出する年度の１０月１日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： １）委員会の運営及び決定事項の周知徹底並びに委員会その他関係部署との連絡調整 ２）医療安全対策の推進 ３）医療安全の確保に資する診療状況の把握及び職員の意識向上 ４）医療安全に係る教育・研修の企画立案 ５）医療安全に係る各種マニュアルの管理 ６）医療事故等に関連する情報の収集、調査及び分析 ７）入院患者の死亡及び医療上の重大事象に係る職員からの報告に関すること ８）医療事故等に関する診療録等の記載内容が正確であるかの点検及び指導 ９）患者及び家族への説明等、医療事故発生時における対応状況の確認及び指導 １０）医療事故等の原因究明の実施・確認及び指導 １１）定期的な院内の巡視 １２）手術時の血栓予防策実施率のモニタリング ※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（２件）、及び許可件数（２件） ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無 (☒ 有・無) ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療	

技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒・無）

・活動の主な内容：

審査部では、各診療科等から提出される申請書を確認の上、審査部内に設置された高難度新規医療技術評価委員会からの意見を踏まえ、提供にあたっての条件などを含め、医療提供の適否について決定します。また、提供を認めた症例について、適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、確認を行います。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒・無）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（☒・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数(27件)、及び許可件数(25件)(取下げ2件)

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（☒・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業員が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒・無）

・活動の主な内容：

審査部では、各診療科等から提出される申請書を確認の上、審査部内に設置された未承認新規医薬品等評価委員会からの意見を踏まえ、使用にあたっての条件などを含め、使用の適否について決定します。また、使用を認めた症例について、適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、確認を行います。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（☒・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 467 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 49 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

専任リスクマネジャーは、医事グループ及び病歴管理センターから提出された、退院サマリー、死亡診断書の内容、死亡退院時スクリーニングシート及び電子カルテ内容を確認し、死亡退院までの経緯を把握する。このことは、医療事故調査制度にも関連することから、毎月1回医療安全管理委員会にて死亡事例調査報告書をあげ、入院患者の死亡事例について審議を行っている。緊急かつ重大な事象が発生した場合は、医療安全管理マニュアルにその一般的な対応方法を定めているが、当該事象に対する具体的な対応を審議するための危機管理室、病院長が関係者からの事情聴取による事実確認を行い、その結果、医療法に定める医療事故の発生その他必要な事項を判断する症例検討委員会、医療の安全確保に関し、医療事故に係る原因の調査究明及び再発防止を行う医療事故調査委員会が、それぞれの任務にあっている。

また、緊急かつ重大な事象以外のインシデントが発生した場合、当事者又は発見者は、発生後速やかに、インシデントレポートにより報告することを医療安全管理マニュアルに定めている。その流れ・患者影響レベルの選別において、専任リスクマネジャーによるレベル選別会議及び医療安全管理部会議においてレベル3a以上の事象を選定後、患者影響レベル判定小委員会（医科領域）及び医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）の審議を経て、必要に応じて医療安全管理委員会で「事

例報告書及び改善策検討報告書」の審議や当該改善策の実行を指示している。また、リスクマネジャー会議を通じて、各リスクマネジャーに当該事案の周知や実践を図っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り（ ☒ （病院名：山形大学医学部附属病院） ・ 無）
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ ☒ （病院名：京都大学医学部附属病院） ・ 無）
- ・ 技術的助言の実施状況
デスカンファレンスの参加者について、「各診療科の職員も含めて開催されることを推奨する」との助言に対し、死亡患者に限らず、医療安全管理部内で検討が必要と判断した事象については、M&Mカンファレンスとして、関係職種（多職種）との検討を推進している。

高難度：総じて過不足ない体制が整備されているという評価であった。
また、審査部において多職種での対応を助言されたことについて、新たに看護部の職員が部員となった。

未承認：医薬品の未承認・適応外使用を広く収集し、適切に管理されているという評価であった。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況
患者・家族等からの相談等に応じられる体制を確保するための患者相談窓口として、患者支援センター医療相談室を設置しており、当該相談等で医療安全に関わるものについては、医療安全管理部と連携して対応し、安全対策の見直し等に活用している。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況
別紙①のとおり
※高難度・未承認の研修について、2019年6月10日開催の医療安全管理職員研修会の中で併せて実施している。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況

管理者（病院長） 木内 良明
平成30年度特定機能病院管理者研修[第1回（9/17～18）]に参加

医療安全管理責任者（副病院長） 岡田 守人
平成30年度特定機能病院管理者研修[第3回（1/21～22）]に参加

医療安全管理責任者（副病院長） 田中 信治
2019年度特定機能病院管理者研修[第2回（12/17～18）]に参加

医薬品安全管理責任者（薬剤部長） 松尾 裕彰
平成29年度特定機能病院管理者研修[第5回（3/13～14）]及び
平成30年度特定機能病院管理者研修[第4回（2/6）]に参加

医療機器安全管理責任者（副病院長） 大毛 宏喜
2019 年度特定機能病院管理者研修[第 2 回（12/17～18）]に参加

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

2019年度 医療安全管理職員研修会

No	テーマ	講師	対象	日時・場所	参加者 数合計
1	リスクマネージャーの役割	医療安全管理部 G RM 新谷 公伸	リスクマネージャー	4月9日(火) RM会議内 第4講義室	98
2	造影剤アレルギーの危険性 MR室への磁性体持ち込みの危険性	放射線診断科 診療准教授 飯田 慎	造影剤、MRI検査 に携わる職員 (新規採用者必 修)	5月20日(月) 17:45~18:30 第4及び第5講義室	229
3	【必修1】当院の医療安全管理体制について 診療ルール、インシデント報告のルール、 昨年度の警鐘事例、職員研修受講の必要性、 重大事象発生時の対応	医療安全管理部長 田中 信治	全職員	6月10日(月) 17:45~18:15 第4及び第5講義室	2,972
4	【必修2】当院の医療安全管理体制について 医療事故調査制度について	広島県医師会常任理事 渡邊 弘司	全職員	6月10日(月) 18:15~18:45 第4及び第5講義室	2,962
5	病理検体の正しい取り扱いについて 正しく検査を行うために一検体採取から提出まで一	病理診断科 教授 有廣 光司 臨床検査副部門長 大盛 美紀	各種検体、病理検 体に携わる職員 (新規採用者必 修)	7月22日(月) 17:45~18:45 (17:45~18:15~18:45) 第4及び第5講義室	113
6	抗がん剤の安全な取り扱いについて CVポート・PICCカテーテルの管理	薬剤部主任(RM) 泉谷 悟 株式会社メディコン 係長 久保田 千恵	薬剤に携わる職員	8月5日(月) 17:45~18:45 (17:45~18:15~18:45) 第4及び第5講義室	86
7	軽症くも膜下出血の見落とし防止 脳卒中	脳神経外科 助教 岡崎 貴仁 脳神経内科 木下 直人	医師・歯科医師・ 放射線技師	9月2日(月) 17:45~18:30 (17:45~18:15~18:45) 第4及び第5講義室	68
8	【日本専門医機構認定共通講習(医療安全)対象】 トラブル発生時の患者への初期対応について	寺西康一郎 法律事務所 寺西 康一郎 弁護士	全職員	10月24日(木) 17:45~18:15 第4及び第5講義室	156
9	BLS—一時救命処置研修	看護部救命処置 インストラクター	医師・歯科医師・ 看護師以外	【第1回】12月6日(金) 【第2回】1月8日(月) 17:45~18:45 3階大会議室	16 10

2020/3/31

2019年度 院内感染防止対策研修会

2020/3/31

No	テーマ	講師	対象	日時・場所	参加者数 合計
1	【必修1】 血管内留置カテーテル感染症の診断・治療・予防法	感染症科 助教 大森 慶太郎	全職員	7月8日（月） 17：45～18：15 第4及び第5講義室	2,967
2	【必修2】 インフルエンザ対策について	トランスレーションナ ルリサーチセンター 准教授 感染制御部 繁本 憲文	全職員	9月30日（月） 17：45～18：15 第4及び第5講義室	2,934
3	【抗微生物薬適正使用研修会1】 抗園薬適正使用：「あるある」と「ないない」 ～すべての医療従事者が知っておくべきピットフォール～	救急科 教授 志馬 伸朗	抗微生物薬に関わ る業務に従事する 職員	11月15日（火） 17：45～18：15 第4及び第5講義室	110
4	【抗微生物薬適正使用研修会2】 【日本専門医機構認定共通講習（感染）対象】	トランスレーションナ ルリサーチセンター 准教授 感染制御部 繁本 憲文	抗微生物薬に関わ る業務に従事する 職員	2月4日（火） 17：45～18：45 第4及び第5講義室	122
5	当院の「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」につい て	感染制御部部長 大毛 宏喜 感染制御部副部長 森 美菜子	全職員	2月28日（金） 17：30～18：00 第5講義室	522

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準 - 基準の主な内容 - 医師法に定める医師免許証を有すること。 - 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有すること。 - 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有すること。 - 教育・研究・診療に必要な資質・能力を有すること。 - 広島大学病院の理念・基本方針を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。 - 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） - 公表の方法 病院ホームページへの掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 ・ ☒ 無			
- 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ） - 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有 ・ 無 ） - 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有 ・ 無 ） - 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無

規則第9条の2 3 第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☒ 有・無	
・合議体の主要な審議内容 (1) 病院情報(診療情報及び運営情報等)の収集・分析に関する事項 (2) 医療提供体制の基本戦略の立案と評価に関する事項 (3) 予算, 人員, 設備等の資源配分の立案と実施に関する事項 (4) 病床, 手術室等の適切な使用割り当ての方針に関する事項 (5) 医療機器, 医薬品, 医療材料等の戦略的調達 of 企画立案に関する事項 (6) 病院の運営戦略の企画立案に関する事項 (7) 病院における実習, 研修, 研究の在り方に関する事項 (8) 病院の諸活動の自己点検・評価に関する事項 (9) その他必要な事項の企画・立案に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 会議終了後, 資料及び議事録を学内ポータルへ掲載 ・合議体に係る内部規程の公表の有無 (有・☒無) ・公表の方法 ・外部有識者からの意見聴取の有無 (有・☒無)			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
木内 良明	○	医師	病院長
柴 秀樹		歯科医師	主席副病院長
工藤 美樹		医師	副病院長(診療担当)
香西 克之		歯科医師	〃 (歯科教育・研修担当)
志馬 伸朗		医師	〃 (医療安全管理・災害担当)
大毛 宏喜		医師	〃 (経費改善担当)
田中 信治		医師	〃 (医科教育・教員人事担当)
岡田 守人		医師	〃 (研究・基金担当)
佐藤 陽子		看護師	〃 (看護担当)
新本 陽一郎		事務	〃 (管理運営担当)

杉山 英二		医師	病院長補佐（国際担当）
伊藤 公訓		医師	〃 （医科診療・研修担当）
河口 浩之		歯科医師	〃 （歯科診療担当）
木村 浩彰		医師	〃 （地域連携・勤務環境改善担当）
太田 耕司		歯科医師	〃 （歯科安全・感染担当）
秀 道広		医師	〃 （研究開発担当） 副学長（研究開発担当）
松尾 裕彰		薬剤師	薬剤部長
伊藤 義広		理学療法士	診療支援部長
田中 純子		教員	理事・副学長（霞地区・教員人事・広報担当）
津賀 一弘		歯科医師	副学長（医系科学研究担当）

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
大学ホームページに掲載
- ・ 規程の主な内容
 - ・ 病院長が病院の業務を掌理
 - ・ 副病院長等の選考方法
 - ・ 副病院長等の担当
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - ・ 副病院長：病院長の業務の一部を分担し、病院長を補佐、以下の担当9名を配置
（主席副病院長／診療担当／歯科教育・研修担当／医療安全管理・災害担当／経費改善担当／医科教育・教員人事担当／研究・基金担当／看護担当／管理運営担当）
 - ・ 病院長補佐：病院長の管理運営等に関して病院長を補佐、以下の担当6名を配置
（国際担当／医科診療・研修担当／歯科診療担当／地域連携・勤務環境改善担当／歯科安全・感染担当／研究開発担当）
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
厚生労働省が公益財団法人日本医療機能評価機構に委託し実施している「特定機能病院管理者研修」の受講

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	☒ 有・無
・ 監査委員会の開催状況：年2回（令和元年9月9日、令和2年3月16日実施） ・ 活動の主な内容： 医療に係る安全管理体制について ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（☒有・無） ・ 委員名簿の公表の有無（☒有・無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（☒有・無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（☒有・無） ・ 公表の方法： 病院ホームページへの掲載	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
渡邊 弘司	日本医師会・常任理事	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
福永 宏	福永宏・福永孝法律事務所・弁護士		法律に関する識見を有する者	無	1
中川 圭	認定NPO法人乳がん患者友の会きらら・理事長		医療を受ける者	無	2
				有・無	
				有・無	
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

広島大学内部統制規則に基づく

・ 専門部署の設置の有無（ 有・☒無 ）

・ 内部規程の整備の有無（ ☒有・無 ）

・ 内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ）

・ 公表の方法

大学ホームページに掲載

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 ・ 役員会：大学の重要事項を審議、メンバーは学長及び理事 原則として毎月1回開催 ・ 経営協議会：大学の経営に関する重要事項を審議、メンバーは学長、理事及び学外有識者 学長が必要と認めたときに開催 ・ 会議体の実施状況（ 年 21 回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ 有 ・ 無 ）（ 年 21 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法 大学ホームページに掲載			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有 ・ 無
			有 ・ 無
			有 ・ 無
			有 ・ 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の
情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 通報件数（年0件）
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための
方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 周知の方法
学内ポータルサイト及び大学ホームページに掲載